

令和８年度 第１回松本市学校部活動の地域展開検討協議会

日時	令和８年７月１日（水）午後２時
会場	松本市大手公民館２階大会議室

次 第

１ 開 会

２ 教育長あいさつ

３ 会長あいさつ

４ 会議事項

- (1) 令和８年度 部活動地域展開の推進方針について
- (2) 令和８年度 部活動の地域クラブ活動への展開に係る課題への対応状況
- (3) 部活動の地域展開に向けた中学校の実態及び課題について
- (4) 令和８年度部活動加入状況調査結果について
- (5) 地域クラブマネジメント業務報告
- (6) 地域クラブポータルサイト構築業務報告
- (7) 運動系部活動の地域展開の状況及び今年度の取組みについて
- (8) 文化系部活動の地域展開の状況について
- (9) 部活動の地域展開に伴う公民館サークル等の受入れ体制について
- (10) 部活動の地域展開に伴う令和８年度実証事業の実施について
- (11) 部活動の地域展開におけるクラブ認定の取扱いについて

５ その他

６ 閉会

令和８年度 部活動地域展開プロジェクト 体制表

●部活動地域展開検討協議会 １０名（年４回開催）

役職	職名	氏名
会 長	長野大学社会福祉学部 准教授	高山 智史
副会長	市スポーツ協会事務局長	横内 俊哉
委 員	中学校長会代表（信明中学校長）	丸山 剛生
	中学校長会代表（梓川中学校長）	関 雅夫
	P T A連合会副会長	谷田部 和良
	P T A連合会副会長	池田 紫乃
	（株）松本山雅	柄澤 深
	芸術文化振興財団理事長	青山 織人
	松本市公民館長会（鎌田地区公民館長）	小嶋 和好
	松本大学人間健康学部スポーツ健康学科 専任講師	本間 崇教

●部活動地域展開検討協議会参加メンバー ２０名

役職	職名	氏名
オブザーバー	信州大学教育基盤構築センター准教授、松本市教育顧問	荒井 英治郎
会 員	教育長	曾根原 好彦
	教育次長	赤羽 志穂
	教育監	山名 博夫
	教育政策課長	小西 えみ
	学校教育課長	内山 真由美
	生涯学習課長	野口 典宏
	文化観光部長	清澤 明子
	文化振興課長	武藤 美紀
	スポーツ部長	武井 厚志
	スポーツ事業推進課長	百瀬 博明
	スポーツ施設整備課長	小澤 弥生
	住民自治局長	廣田 圭男
	地域づくりセンター長	村田 誠司
事 務 局	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	市総括コーディネーター	百瀬 顕正
	地域展開担当	藤田 克彦
	課長補佐	降旗 基
	主任	大久保 幸平
	主任	伊藤 貴浩

●協議会ワーキングメンバー １８名

所属課	職名	氏名
学校教育課	課長補佐	横山 盛雄
	課長補佐	堀金 孝志
	主査	篠原 慎介
	主任	小沢 智也
学校支援室	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	市総括コーディネーター	百瀬 顕正
	地域展開担当	藤田 克彦
生涯学習課	課長補佐	上嶋 秀俊
	主事	寺社下 奈央
文化振興課	課長補佐	百瀬 真紀
	主事	長坂 優衣
スポーツ事業推進課	課長補佐	西村 聡充
	主任	大野 真知嗣
スポーツ施設整備課	課長補佐	内山 博司
	係長	左治木 佳奈子
事務局	課長補佐	降旗 基
	主任	大久保 幸平
	主任	伊藤 貴浩

地域展開検討協議会資料
8. 7. 1
教育政策課

令和8年度 部活動地域展開の推進方針について

1 趣旨

令和8年度末までに予定されている平日の学校部活動の地域展開に向け、令和8年度における具体的な地域展開の推進方針について報告するものです。

2 令和8年度の主な取組み

(1) 総括コーディネーターの増員

今年度は、市総括コーディネーターを1名増員し、2名体制としました。あわせて、現場の課題を的確に把握し、その解決につなげるため、市職員担当者1名が同行し、学校部活動の状況確認や地域クラブ団体及び指導者人材の掘り起こし等を行います。

(2) 地域クラブ育成支援講座の実施

持続可能なクラブ運営を可能とするため、運営・経営の基礎を学ぶ講座（全9講座）を8月から10月にかけて開催します。また、令和7年度に作成した運営ハンドブックを活用し、これから地域クラブを立ち上げようと考えている方や、すでに運営しているものの経営に課題を抱えている団体への支援を行います。

(3) 地域クラブマネジメント委託業者の変更

令和6・7年度は、地域展開に知見を有する「スポーツデータバンク㈱」に業務を委託してきましたが、より現場密着型の支援体制へ見直すため、地元拠点に構える「シンコースポーツ㈱」へ委託先を変更しました。これにより、より高い機動力を生かした支援が期待されます。

(4) ICT支援の強化

地域展開に関するポータルサイトを再構築し、各クラブ団体が自ら情報を更新できる仕組みへ変更しました。また、今後はアプリケーションを活用し、会費徴収、欠席連絡、スケジュール管理、グループ連絡等が行えるよう支援します。

(5) 中学校区における地域クラブ相談会の実施

部活動から地域クラブ活動への円滑な移行を図るため、中学校区ごとに地域クラブ等を紹介する「地域クラブ相談会」を開催します。教育委員会において会場及び開催日程の調整を行い、参加を希望する地域クラブ等を募集し、会場内にブースを設けて各クラブを紹介することで、小学生や保護者の不安解消に努めます。

(6) 「まつチャレフェスタ！2026」の開催

昨年度好評をいただいた「まつチャレフェスタ！」を今年度も開催します。令和9年2月11日にエア・ウォーターアリーナ松本で開催する予定です。実施に当たっては、県の「地域クラブバイキング体験会」事業と共同開催し、まつチャレ団体への入会促進等につなげます。

(7) 自転車利用の推進

地域クラブ活動への移動手段として自転車の利用を推進するため、中学校において交通安全教室及び自転車安全点検を実施します。

(8) 地域貢献休暇の活用

本市では、令和８年４月１日に「地域貢献休暇」を創設しました。引き続き、職員等が積極的に地域クラブの指導等に携われるような環境づくりを進めます。

3 今後の方針

(1) 地域クラブ創設支援補助金の期間延長

昨年度、文化系地域クラブへの配慮から、補助金の交付期間を令和９年度まで延長する予定とありますが、地域展開の過渡期であることを踏まえ、さらに令和１０年度まで延長することを検討します。なお、令和９年度に新たに補助金の交付を受けたクラブに限り、令和１０年度に２年目分として５万円を交付し、本補助制度を終了する予定です。

(2) 「まつチャレ」の継続見直し

令和６年度より始まった「まつチャレ」の届出については、昨年度、国の認定地域クラブ制度の動向を踏まえて終了時期を判断するとしていましたが、後述する「行政認定された地域クラブ」を大会参加要件とする競技団体が現れたことから、当面の間は「まつチャレ」を継続するものとします。

(3) 学校との連携体制について

令和８年度末をもって平日の部活動は終了しますが、地域クラブ活動への移行に当たっては過渡期となるため、円滑な引継ぎに十分配慮します。また、少子化や教員の働き方改革が本改革の背景にある一方で、今後も学校施設の活用や中学校体育連盟主催の大会への参加等において、教職員の協力が必要となる場面が想定されます。

移行後も学校と地域クラブを完全に切り離すのではなく、学校を含めた地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みづくりを進めます。

(4) 地域展開後の中学校施設利用について

部活動で使用しなくなった時間帯は、各学校の学校運営に支障のない範囲で今後開放します。新たに開放した時間帯を含め、「平日の午後７時まで」及び「休日の昼間」の時間帯は「まつチャレ」「非まつチャレ」に関わらず、登録団体のうち、中学生を主な活動主体とする団体が優先的に予約できるよう調整を進めます。

令和8年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2026/6/26

No	分類	内容	課題状況			対応者	期限	対応	対応完了日
			学	保	期				
1	市としての理念	松本市としてのビジョンを（しかるべき人から）示してほしい。休日部活動の移行という観点からだけでなく、松本市として、スポーツ文化の活動をどのように捉えているのか示してほしい。この長期展望からR5（R6も）の地域クラブ活動の目指す姿（当面の完成形）を示してほしい。	○		○	学校教育課 スポーツ事業推進課 文化振興課 教育政策課	2023/10/1 2024/3/31 2024/4/9 2024/9/25 2024/10/4 2024/11/30 2025/2/7,12 2025/2/28 2025/6/13 2025/9/17 2025/12/19 2026/2/11 2026/4/23	<2023/10> 国のガイドラインにおいても、各自治体における推進計画の策定が示されているため、今年度を目標に推進計画を策定し、目指す姿の周知を図ります。 <2024/2> 推進計画を2月に策定し、概要版を作成しました。 <2024/4> 小中学生・児童生徒、保護者に対して地域移行のリーフレットを作成し校務支援ツールから配信しました。 <2024/9> 9月号まっチャレ通信を定期発行し、校務支援システム（C4th home&school）で配信しました。 <2024/10> 9/25の市長定例記者会見で、松本市における今後の移行方針等を説明しました。 <2024/11> 市の公式YouTubeチャンネルにて、部活動の地域移行の移行を配信しました。 <2025/2> 市長と市民が懇話する多事争論会において、部活動の地域移行について、移行スケジュールの支援などを説明しました。 <2025/12/19> 市の公式YouTubeチャンネルにて、部活動の地域移行について市長との対談動画を2本配信しました。 <2026/2/11> 広報まっつもと3月号の巻頭特集で部活動の地域移行に関する記事を掲載しました。 <2026/4/23> 14校の部活動の情報を掲載し、松本市の部活動地域移行の状況についてインタビュー番組が放送されました。 <2025/9/17> 市民定例記者会見にて、地域展開に向けた松本市の取組みとまっチャレフェスタ！2025の開催について配信しました。 <2025/12/19> 議会教育委員会で、松本市における部活動地域移行の現状と方向性について、教育委員と意見交換を実施しました。 <2026/2/11> 市民と市長が語り合う「多事争論会」にて、部活動地域移行の未来像～子どもたちの「やりたいい」を叶える新しいカタチ～をテーマに、市民と意見交換を実施しました。当日は、実際に活動を始めようとするまっチャレ団体の事例発表等を行うとともに、市長の部活動地域移行に関する考え方を、広く市民に伝える機会となりました。 <2026/4/23> 令和7年12月に改訂された国のガイドラインを踏まえ、令和6年2月に策定した「松本市部活動地域移行推進計画」を一部改訂しました。	
2	推進日程	本当に部活動の移行は行われるのか。いつから部活動がなくなる、ということを確認してほしい。覚悟が決まらない。令和8年度の移行に向けて、令和5年度は何をするのか。具体的なスケジュールを示してほしい。	○			教育政策課 学校教育課	2023/10/1 2024/9/9 2025/6/16 2026/1/12	<2023/6/15> 松本市議会6月定例会の一般質問において、令和7年度末までに地域移行を完了する旨答弁しました。 <2024/9/9> 具体的なスケジュールについては、現在作成中の推進計画策定後（2月頃）に提示します。 <2025/6/16> 推進計画に、休日部活動は令和7年度末まで、平日部活動は令和8年度に移行することを旨として取組みを進めていくことを明示しました。 <2024/9/9> 地域移行の情報紙「まっチャレ通信」を刊行し、9月号に各学年に応じた移行スケジュールの表を掲載しました。 <2025/6/16> 松本市議会6月定例会の一般質問において、地域移行の完了時期に関する質疑があり、松本市は計画を変更せず、令和8年度末の完全移行を目指して取組むと答弁しました。 <2026/1/12> スポーツ・文化活動運営委員会連絡協議会において、部活動の終わりの方について説明するとともに、児童生徒及び保護者に対し、部活動の終了時期の明確化と、受け皿となる地域クラブの案内を、学校ごとに一覧で提示することをお願いしました。	
3	協議会	協議会の議論の様子を定期的に共有してほしい。何が決まらず、何が課題なのかについて、現場レベルでは情報がない。校長会・教頭会等で教えてほしい。	○	○	○	教育政策課 学校支援室 スポーツ事業推進課	2023/6/30 2023/10/1 移行完了まで	<2023/6/15> 協議会のページを作成し、会議資料をアップロードしました。 <2023/7/19> 野球合同部活動の状況について校長会に説明しました（オンライン）。 <2023/10/10> 市長定例会においてモデルケースの進捗状況等について報告しました。 <2024/10> 市内に部活動地域移行のまとめサイトを作成しました。 <2023/10> 校長会の幹事会及び校長会の中学校部会において、進捗状況を報告しました。 <2023/12> 公民館長会にて、地域移行の概要について説明しました。 <2024/1> 校長会幹事会及び校長会において、進捗状況を報告しました。 <2024/4> 校長会幹事会及び校長会において、今年度の予定を報告しました。 <2024/8> 校長会幹事会及び校長会において、まっチャレ通信の発行、ロゴマークの募集について報告しました。 <2024/9> 校長会幹事会及び校長会において、アンケートの実施、ICTを利用した地域移行支援アプリの実証について報告しました。 <2024/12> 校長会幹事会及び校長会において、12月22日に開催する部活動の地域移行説明会の実施について報告しました。 <2025/1> 校長会幹事会及び校長会において、学校解放事業の見直しについて報告しました。 <2025/8> 校長会幹事会及び校長会において、今年度の予定を報告しました。 <2025/8> 校長会幹事会及び校長会において、これからの美術活動に関するアンケート調査の実施について報告しました。 <2025/9> 校長会幹事会及び校長会において、平日の地域クラブ活動参加に伴う自転車の利用について報告しました。 <2025/10> 校長会幹事会及び校長会において、これからの美術活動に関するアンケート調査結果を報告するとともに、今後の美術活動を見直し、放課後時間の活用について検討をお願いしました。 <2026/4> 校長会幹事会及び校長会において、今年度の予定を報告しました。	
4	協議会	どのようなルートで情報は周知され、どこが課題点を確認するのか。どこが何をやるのか、という協議会の持ち方を明らかにしてほしい。	○	○	○	教育政策課	2023/8/1	<2023/8/1> 関係各課で各課の課題を協議し、移行検討協議会で承認いただいた後、市ホームページや各種説明会等で周知を行います。	2023/8/1
5	指導者	希望する教員が地域クラブ指導者となり、希望しない教員が関わらないで済む体制をお願いしたい。	○		○	学校教育課	2024/3/31 2024/10/9 2024/11	<2023/7/28> 学校関係の協議会参加委員から校長会を経由して各校へ周知します。 <2024/10/9> 校長会において、学校側の地域移行の具体的な進め方について説明し、今後、兼職業務を希望する教員がどのように関わっていくか提案しました。 <2024/10> 市PTA連合会主催の説明会に出席し、部活動地域移行の説明の中で、原則、兼職業務届けは希望する教員のみで、強制されるものではないことを説明しました。 <2024/11> 各学校の吹奏楽部保護者会において、吹奏楽の地域移行の目指す姿等を説明するとともに、現在の顧問に対して、兼職業務の意思確認をしました。	
6	競技会等の在り方	中体連以外の競技会運営にも教員が関わっていたが、今後、指導を希望しない教員が増えることが予想される。運営スタッフの不足を補充するアルバイト等を募集すれば、結果的に参加費の高騰を招く可能性がある。競技会等の在り方を検討する必要があるのではないかな。	○	○		スポーツ事業推進課	2023/12/1 2025/6/30	<2023/11> 地域移行プロジェクトチーム会議で、大会の運営体制の在り方等について、各競技団体へ検討をおねがいしています。 <2025/6> まっチャレ通信6月号で、中体連の最新情報について、中体連連理事務長のインタビュー記事に掲載しました。	
7	地域クラブ活動の在り方	地域クラブ活動のガバナンスを担保する必要がある。指導者のハラスメント、異なる学校間で集まる生徒間のトラブルについても学校ではなく各地域クラブ活動で対応する必要がある。	○		○	スポーツ事業推進課 学校教育課	2024/12/1 2025/2/14 2025/9/23 2026/2/14 2026/4/27	<2023/10> 指導者向けの研修会について、令和6年度の開催を検討しています。 <2024/10> 今年度はプロスポーツクラブのコーチによる指導者研修や教育委員会による教育的意義についての研修を実施する予定で、部活動の教育的意義に関する研修や女子生徒への理解と支援等に関する指導者研修を実施しました。 <2025/9> 9月20日に、信州大学医学部の師田先生を講師として、指導者研修会「スポーツが予防」を実施し、15名が参加しました。 9月23日のまっチャレフェスタ！2025で、地域クラブ運営セミナーを開催し、プラスナインの宮城氏より、地域クラブの運営リスクについて説明を行いました。 <2026/2/14> 9月に引き続き、信州大学医学部の師田先生を講師に、第2回となるスポーツ医学に基づいた指導者研修会を開催し、14名が参加しました。 <2026/4/27> まっチャレ団体を対象に、「運営ハンドブック」を配布しました。ハンドブックには、運営体制・ガバナンスの確保やリスクマネジメントに関する事項を掲載しています。	
8	地域クラブ活動の在り方	レクリエーション志向の種目などをほしめ多様な種目を体験できる地域クラブ活動が活発になるよう期待したい。	○		○	教育政策課 文化振興課 生涯学習課	2023/12/1 2025/2/28 2025/3/29 2025/9/23 2026/2/23 2026/4/1	レク志向、競技志向については、各団体の活動方針によりますが、今後地域クラブ団体の概要を作成するにあたっては、クラブ団体にピアリングを行い、表中に提示できるようにします。 <2024/1> 中学生の受け入れ可能な団体一覧を作成し、市ホームページに公開するとともに、学校と保護者の連絡ツール（C4th home&School）にて、情報配信を行いました。 <2024/10> 第2回の中体連部活動地域移行プロジェクトチーム会議にて、中学生の受け入れ可能な団体一覧を、より視覚的に紹介する「団体カタログ（仮）」の作成を提案し、現在募集中です。 <2024/11> 団体カタログのレイアウトや、まっチャレ団体一覧の入力フォームとの統一について、関係課及びスポーツデータバンクと調整しました。 <2025/12> 団体カタログの名称を地域クラブガイドに変更し、第3回中学校部活動地域移行プロジェクトチーム会議にて様式を報告しました。また、未登録の団体に追加で情報提供いただくよう募集案内を周知しました。 <2025/3/29> アーバンスポーツ体験会を開催し、約70名が参加しました。 <2025/9/23> まっチャレフェスタ！2025を開催し、約800名が参加しました。 <2026/2/23> 松島中学校で「スポーツ文化活動松島中相談会」が開催され、100名以上の児童と保護者が参加しました。 <2026/4/1> まっチャレサポートデスクのクラブ紹介ページを再構築し、各団体が自らクラブ情報の更新を行える形式に変更しました。https://matsushille-supportdesk.asfite.jp/	

令和8年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2026/6/26

No	分類	内容	課題状況			対応者	期限	対応	対応完了日
			学	校	課				
9	指導者の質	教員が大切にしてきた生徒個人の特性等に応じた指導は、これからも重要である。子どもと接する機会が少ない地域クラブ指導者の質を向上するために研修の機会が必要である。市として研修会を確保してほしい。				スポーツ事業推進課 学校教育課	2024/9/30 2025/2/14 2025/12/25 2026/2/1 2026/2/8 2026/2/28 2026/3/3 2026/3/28	<2023/4/1> ・本年度から、指導者の質・量の確保を目的に、公認スポーツ指導員資格者の取得に係る経費について補助金交付を行っています（令和5年度実績 コーチ：7名、スタートコーチ：1名） ・また、指導者向けの研修会について、令和6年度の開催を検討しています。 ・<2024/6> 今年度はプロスポーツクラブのコーチによる指導者研修や教育委員会による教育的意義についての研修を実施する予定です。 ・<2025/2> 部活動の教育的意義に関する研修やプロスポーツクラブによるコンプライアンス研修等を実施しました。 ・<2025/12> ・横松本山産、信州プレイブウォーリアーズによる、派遣コーチングを実施しました。 ・<2026/2/1> ・信濃グランセローズによるコンプライアンス研修及び技術指導研修を実施し、14名が参加しました。また、同日に派遣コーチングも実施し、100名が参加しました。 ・<2026/2/8> ・信州プレイブウォーリアーズによる派遣コーチングを実施しました。 ・<2026/3> ・同じく、V長野トライデンツ(3/7)、信州プレイブウォーリアーズ(3/16)、松本山産FC(3/24)による指導者研修を実施しました。 ・教育的意義に関する研修について、都合により参加できなかった指導者向けに動画を作成しました。今後、未参加の指導者には当該動画の視聴（限定公開）を依頼していきます。 ・<2026/3/28> 都合により遠地の集合研修を受講できない指導者を対象として、教育委員会が研修動画を制作し令和8年4月25日時点で31人が視聴しており、今後もコンテンツを定期的に更新していく予定です。https://youtu.be/E6t1N4fJ5sw	
	指導者の量	教員が「休日だけでなく、平日も指導に関わりたくない」という意思を表明する状況が予想される。休日、まして平日の地域クラブ活動の指導者を確保することは困難である。一方で子どものスポーツや文化の活動の衰退は避けなければならない。指導者を安定的に確保できる体制を手当てを含めて検討し、整えてほしい。持続的に関わることで指導者を確保するために人材バンク等の検討をお願いしたい。				教育政策課 スポーツ事業推進課	2024/9/30 2025/3/3 2025/6/5 2026/3/4	人材バンクについては、県教委が設置しているケースがほとんどですが、今後も県の動向や他自治体の状況等も参考にしながら、よりよいマッチング方法について研究していただきます。 ・市の職員が、平日の勤務時間内に地域クラブの指導者を希望した場合に、職免の対応が可能が、検討していきます。 ・<2024/6> 今年度、マネジメント支援業務委託の中で、指導者の人材バンクの仕組みについても検証する予定です。 ・<2024/9> 9/30にまつチャレサポートデスクを開設し、指導者人材バンク登録を開始しました。 指導者人材バンクの登録者数は13人です（3/11時点） ・<2025/3> 指導者人材バンクの登録者数は17人です（6/23時点） ・<2026/3> 指導者人材バンクの登録者数は29人です（3/20時点） ・<2026/4> 長野市の「信州地域クラブ活動指導者人材バンク」へ移行しました。令和8年6月25日時点における松本市の指導者登録者数は37人です。	
11	指導者の量	国は教員に支給されてきた教員調整額の見直しを図っているようだが、今後残業代が支払われることで、教員が平日の時間外に部活動指導を担うという方針があるのか。国の動向を教えてください。				学校教育課	2025/3/31	国の動向を確認し、状況に応じて周知いたします。	
12	会費	地域クラブ活動への移行は、低減な部費から高い月謝を支払うことへ転換されることから予想される。休日、まして平日の地域クラブ活動の指導者を確保することは困難である。一方で子どものスポーツや文化の活動の衰退は避けなければならない。指導者を安定的に確保できる体制を手当てを含めて検討し、整えてほしい。持続的に関わることで指導者を確保するために人材バンク等の検討をお願いしたい。				教育政策課 スポーツ事業推進課	2025/3/31 2025/7/7 2025/12/25	地域クラブの会費は可能な限り参加しやすい金額を設定することを推奨します。なお、経済的理由によって参加を諦めることがないよう、市では就学援助対象世帯に必要な支援を行います。 ・<2025/7> スポーツ庁の部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進等に関する調査研究協力者会議（第2回）以降の地域クラブ活動に係る費用負担の在り方について議論されており、令和7年秋～冬頃、費用負担の在り方に関する全体像のとらえとめが公表される予定です。 ・<2025/12> スポーツ庁の参加費の目安によれば、休日に週1日・月4日程度の活動を実施する場合、月額1,000円～3,000円程度を参加費のイメージとしています。ただし、これはあくまでも目安であり、地域の実情や実施回数、実施体制、競技種目等の特性を踏まえ、月額数百円程度とする場合や月額4,000円程度とする場合など、多様な設定があり得るとしています。	
	送迎	今まで通学する中学校で練習が行われてきた。地域クラブ活動では活動場所は変わる可能性がある。周囲バスのなにより、「やってみたい」を続けられるシステムを検討してほしい。				公共交通課	2025/3/31 2025/5/5 2025/9/25 2026/3/14	・通学する学校以外が会場となる場合があり、保護者の送迎が必要となることもありえます。送迎が困難にならないよう、様々なエリアでの地域クラブの創設を促進します。 ・市の公設民営のバス路線等の活用を検討していきます。 ・<2025/5> 自転車通学の要件緩和について、一部の学校で先行実施を開始しました。 ・<2025/9> ・平日の地域展開を見据え、全校に対し自転車通学の要件緩和についての検討を依頼しました。 ・<2026/2/17> ・筑摩野中学校において、今後の地域展開に伴い自転車利用者の増加が見込まれることを踏まえ、校内で自転車点検及び交通安全教室を実施しました。 ・<2026/3/14> ・路線バスの小児運賃（普通運賃の半額）について、これまで小学生のみが対象でしたが、新たに中学生まで対象が拡大されました。	
14	産学官の連携	体育館や文化施設を有する一般企業や、スポーツ関連企業、あるいは、近隣大学との連携により、地域に根ざすスポーツや文化の活動を醸成してほしい。				スポーツ事業推進課	2025/3/31 2025/4/4 2025/9/23	<2024/10> 指導者人材バンク登録では、学生も随時募集していますので、今後大学等へ周知していきます。 ・<2025/4>（情報） 教育委員会と松本大学スポーツ健康学科の新井ゼミ・本間ゼミが連携し、スポーツの指導者を養成する実証事業として「地域クラブ活動ゼミナール」を始めました。 ・<2025/9/23> まつチャレフェスタ！2025では、松本大学、松本青年会議所、株式会社アルペン、信州キッズスポーツ協会の協力を得て、イベントを実施しました。	
	第3者機関	部活動であれば、生徒間のトラブルや顧問の不適切な対応は、学校や教育委員会が指導管理してきます。今後地域クラブ活動を管理し、指導する機関が必要になるのではないかと。				スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課 教育政策課	2025/3/31	適正な地域クラブ活動が実施されるよう、市が適宜、地域クラブの活動状況を把握し必要に応じて指導を行います。 ・<2024/9> 9月議会の一般質問において、子どもの権利を侵害する事案に対し、権利原則に基づく調査を（こころの絆）と連携して実施することを答弁しました。 ・<2024/12> 12月議会の一般質問において、責任の主体は地域クラブが担うこととなるため、市としてはスポーツ安全保険の加入をクラブに対して求めることとし、生徒間で生じたトラブルに関しては、学校や教育委員会が連携して対応することを答弁しました。また事案によっては「こころの絆」が相談窓口となって、関係機関につなぐ対応を行うことを、改めて説明しました。	
16	保険	地域クラブ活動への加入に際しては、子どもや指導者の怪我や事故への保障をカバーできる学校の共済保険と同等の保険への加入をお願いしたい。				学校教育課 スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課	2024/9/30	<2023/7/5> ・学校を由来とする地域クラブ活動に対しては、スポーツ安全保険への加入を推奨しています。 ・<2023/7/5> ・スポーツ安全協会に保険の案内用パンフレットの送付を依頼しました。 ・<2024/9/30> まつチャレの届出要件に、保険の加入についても明記しました。	
	施設・用器具	地域クラブ活動が学校施設を借りられないと活動できない。中学生が所属する団体には学校施設の優先利用をお願いしたい。そのための学校開放を検討してほしい。その際、教員に入らなくてもよいボランティアの充て、リソース確保も検討したい。また地域施設も同様に検討したい。				学校教育課施設担当	2025/3/31 2026/3/31	学校施設の優先利用を検討します。また、体育館トイレが外部から使用できるよう検討します。オクター設備は、地域住民との調整や費用も多額にかかるので、整備に時間がかかります。 ・<2026/1/29> 学校体育施設開放事業の見直しについて、学校開放管理指導員で報告しました。 ・<2026/1/29> 学校体育施設開放事業の方針について、学校開放管理指導員で報告しました。	
18	施設・用器具	たとえば吹奏楽では、楽器を保管でき、素早く練習を行うことのできる学校の音楽室の利用が期待される。この場合、地域クラブ活動が利用できる学校開放の在り方が求められる。具体的には、地域指導者が利用可能となるよう施設等の在り方を検討する必要がある。				学校教育課施設担当	2025/3/31 2026/3/31	学校施設以外の人が校舎の中に入れるよう、機械警備の方法を検討します。 ・<2025/2/28> 梓川中学校体育館で、スマートキーの実証実験を開始しました（施設予約システムとAPI連携してLINE経由でセキュリティキーを送信し、キーボックスを開錠する仕組み）。 ・<2026/1> 旭町中学校の音楽室のセキュリティについて、回線の2系統化を実施し、非常階段裏口から音楽室への入退室を可能とする実証実験を行っています。	
	施設・用器具	平日や休日の学校施設開放に学校が関わらない仕組みを作りたい。				学校教育課施設担当	2025/3/31	学校施設の管理責任の観点から、全く関わらない仕組みの実現は困難です	
20	施設・用器具	部活動では消耗品や備品として整備され利用できた用器具（デジタルタイマーやボール、楽器など）を地域クラブ活動は利用可能か。利用できる体制が必要だと思われる。				学校教育課施設担当	2025/3/31 2026/1/26 2026/3/17	サッカーゴールやバレーボールの支柱等は従来どおり搬出します。ボール等の消耗品は、クラブで用意していたが、デジタルタイマーや楽器の搬出は学校と協議していきます。 ・<2026/1/26> ・<2026/3/17> 複数校の吹奏楽部が統合して創設した地域クラブの吹奏楽部の取扱いについて、令和8年度は、当該クラブの主な活動場所となる学校で、当該クラブに参加する他の学校の吹奏楽部を使用する場合、当該クラブが活動場所以外の学校から使用する吹奏楽部の一覧を作成し、吹奏楽部の所有校及び活動場所となる学校の双方の学校に事前に送付した場合は、その年度中は借用できるとします。令和9年度以降の取扱い、吹奏楽を持続可能な活動にしているために、引き続き検討を進めます。	
22	指導方針	当面、平日と休日とで異なる指導者が指導するため、指導の方向性が異なる点と混乱する可能性がある。またどちらの団体でも大会に出場したらどうかを迷う。				スポーツ事業推進課	2025/3/31	<2023/11> 大会への出場については、所属クラブの選考と同様に、子どもたちの主体的な選択として、自分で判断し決めてもらうものです。	
	審判業務による指導の混乱	審判業務が許可された教員が、平日は部活動の野球を指導し、休日は地域クラブ活動のサッカーを指導している。休日と中体連大会と地域クラブ活動の大会とが重なった場合、どちらを優先する必要があるか。本報は学校であることから部活動を優先することは理解しているが、一方で地域クラブ活動の組織を自指導するには、この問題をクリアにならないと心配になる。可能であれば、このような問題をクリアするために休日のみならず平日の部活動の廃止を検討してほしい。				学校教育課	2025/3/31	平日の部活動については、大会の出場要件や種目、地域の実情によっても移行状況が異なるため、令和8年度以降、準備が整い次第移行することを目指して取り組みます。	
23	特色ある地域クラブ活動	活動自体を楽しむレクリエーション志向の地域クラブ活動を増やしてほしい。競技志向すると入ることにハードルが高くなると思われる。様々な活動を整備してほしい。				スポーツ事業推進課 生涯学習課 文化振興課	2025/3/31	レクリエーション志向のものも含め、受け皿となる団体との調整を進めているところです。	
	地域クラブ活動の在り方	新規に地域クラブ活動の団体を設立したいが、どうしたらよいだろうか。				スポーツ事業推進課 文化振興課	2024/9/30	<2023/8/8> ・地域の「新設立に伴う具体的な要件等について、担当課で詳細を検討しています。 ・<2023/10/23> 教職員向けの現行活動をクラブ化する場合は流れについては案を作成し、校長会の中学校部会において説明しました。 ・<2024/6> 松本市地域クラブの要件を本年度定める予定です。策定次第、地域クラブの登録方法を広報等で周知いたします。 ・<2024/9> 9/30に開設したまつチャレサポートデスクにて、新規クラブ立ち上げのための相談を受け付けます。	

令和8年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2026/6/26

No.	分類	内容	課題状況			対応者	期限	対応	対応完了日
			学	保	関				
25	部活動の在り方	学校は、今後入学する生徒数を勘案して、部活動の存続や他校への委任指導、合同部活動など、部活動の在り方を検討はじめていのか。部活動を廃部とすれば、他の部活動の人数が増える偏りが生まれる可能性もある。向様に他校との調整を図る必要はないか。学校として働きたいが、どのように働いたらよいかわかってほしい。この検討の際、学校間のみならず競技協会、中体連等との連携をお願いしたい。また拠点校部活動についても同時に検討したい。	○		○	学校教育課	2023/12/1	<2023/7/5> ・今後の入学人数を長期的に捉えて、部活動数の適正化を図る必要があります。委任指導や合同部活動を許可する校長会が主導することとなります。 ・拠点校部活動はあくまで部活動の枠組みとなるため、本市では実施を検討していません。 ・拠点校を構想したとしても、地域移行を進めるために、その拠点校の地域移行を再度検討する負担が生じます。また拠点校部活動を指導する指導者は、異動が前提となる学校職員であると考えたと、持続的に図ることのできる指導者を確保できない可能性があります。 ・また指導を希望しない教員が指導を行わずをええない可能性も払拭できないものと思われま	2023/7/5
26	県の財源	休日の部活動には、部活動手当が支給されていた。地域移行が進み、顧問が指導しなくなれば、県はこの財源をどのように活用していくのか。この財源が地域クラブ活動への補助となるか。	○		○	教育政策課	2026/3/31	<2023/8/1> ・部活動手当とは関係なく、国として地域クラブ活動への新たな補助制度を検討しているようですが、詳細は未定です。	
27	地域特性	山間地の部活動をどのように移行するのか。山間部の学校の生徒の「やってみたい」を実現するために、送迎の問題を含めて検討してほしい。		○	○	教育政策課	2026/3/31	山間地においては、移動に要する時間的なコストが大きい（特に平日）、ICTを活用したりリモートコーチング等も視野に検討していきます。 <2024/6> 本年度、ICTを活用した指導（AIスマートコーチ）について実証を行います。 <2025/10> 本年度、四賀地区でオンラインによる遠隔指導（ダンス）の実証事業を開始する予定です（長野県教育委員会の事業）→現在、調整中 <2025/11> 四賀小学校でオンラインによる遠隔指導（ダンス）の実証事業を開始しました。 <2026/11> 四賀小学校でオンラインによる遠隔指導（ダンス）の実証事業を終了しました。	
28	地域クラブ活動の在り方	様々な事情を抱えた子のフォローなど、学校が関与せずにできる仕組みを構築してほしい。		○		学校支援室 スポーツ事業推進課	2026/3/31	に指導のとおり、経済的事情や家庭環境、特別な支援が必要な子どもたちが活動に参加できる仕組みを整えることは非常に重要だと考えております。地域クラブへの移行にあたっては、学校がすべてを担うのではなく、クラブの運営団体や地域の支援、行政が連携しながら、必要に応じたフォロー体制を構築していきます。 具体的には、参加負担の軽減や、移動や活動参加に不安を抱える子どもへのサポート体制を整えていきます。学校の関与を最小限にとどめつつ、地域全体で子どもを支える仕組みを作ることを目指していきます。	
29	指導者	ボランティアでは継続性がない。兼業兼職の謝金は市でなんとかしてほしい。	○			学校教育課 教育政策課	2026/3/31	地域クラブの指導者はボランティアを前提とせず、必要な謝礼を受け取りながら活動の継続性を高めることが必要と考えます。移行期間中の謝金については、国および県の動向を確認しながら、検討していきます。	
30	市としての理念	種目、場所、時間を子どもが選択できるが、選んだ責任は選んだ側にあること（自己責任）であることを市からしっかりと保護者に説明してほしい。		○		学校支援室 スポーツ事業推進課 文化振興課	2026/3/31	市としては、クラブの仕組みや活動条件について丁寧に説明するとともに、選択の結果に伴う責任についても、保護者説明会や案内文書等を通じてしっかりと周知していきます。あわせて、安心して選択できるように情報提供や相談体制を整え、保護者が理解・納得したうえで活動を進める環境づくりを進めていきます。	
31	市としての理念	地域移行について、全ての種目の保護者に保護者説明会を開いてほしい。		○		学校支援室 スポーツ事業推進課 文化振興課	2026/3/31	<2024/1> 学校からの要請に応じ、順次保護者説明会にて地域移行の説明を実施しています。 <2025/12> 要望のあった学校において、新入生説明会の場で地域移行に関する説明を実施しました。 <2026/12> 要望のあった学校において、新入生説明会の場で地域移行に関する説明を実施しました。	
32	認定地域クラブ制度	松本市において、国の認定地域クラブ制度を導入する予定はないのか。制度を導入することで、国の補助金の活用が可能となるほか、団体側にとっても活動基盤の強化につながるなどの利点があると考えられる。こうした点を踏まえ、導入について前向きに検討していただきたい。			○	教育政策課 スポーツ事業推進課 文化振興課	2027/3/31	<2026/3> 松本市では、すでに地域クラブの臨出制度（まつチャレ）を適用し、市内中学生が安全かつ継続的に活動できる環境整備を進めるとともに、就学援助制度への参加費補助により家庭負担の軽減を図っています。一方、国の認定地域クラブ制度については、補助金の活用などの利点があると認識しているものの、現行の補助制度においては、クラブ側の会費設定や活動報告等の運営面での負担が増加することが懸念されます。このため、今後の制度改善や国の動向を注視しつつ、本市の実情に即した制度となるよう見極めながら、導入について検討していきます。	
33	大会参加	来年度の卓球全国選抜大会より、行政認定を受けた地域クラブの出場が認められる。申込時には、団体から卓球連盟に対して「行政認定された地域クラブであることの確認書」を提出する必要があるが、「まつチャレ」に登録されると、松本市の認定クラブであることを示す証明書等は交付されるのか。また、連盟への提出書類として、市に認定の事実を確認できる書類の発行を依頼することは可能か。		○	○	教育政策課 学校支援室 スポーツ事業推進課	2026/6/30	<2026/3> 松本市では、地域クラブ活動について「まつチャレ」による臨出制度を運用していますが、現時点では国の認定地域クラブ制度に基づく「認定」は行っていない。また、日本卓球協会等が大会参加要件として求めている「行政認定された地域クラブ」については、必ずしも国の認定地域クラブ制度と一致するものでなく、各自治体の関与・承認しているクラブであることを求めているものと認識しています。しかしながら、「まつチャレ」は臨出制度であり、市がクラブを認定する仕組みではないため、現時点では「行政認定された地域クラブ」であることを証明する書類の発行は行っていない。なお、今後、各競技団体における大会参加要件への対応が必要となる場合には、制度の整理や他自治体の動向も踏まえ、どのような対応が可能か検討してまいります。	

地域展開検討協議会資料
8. 7. 1
学校教育課

部活動の地域展開に向けた中学校の実態及び課題について

1 趣旨

令和8年5月13日から28日にかけて市内全中学校（19校）を訪問し、各学校における部活動の現状や地域展開に向けた課題についてヒアリングを実施したため、その概要を報告するものです。

2 現状と課題

(1) 指導者の確保や資格等

ア 持続可能な指導体制への不安

地域クラブが立ち上がりつつある一方で、現在の学校部活動の顧問が「兼職兼業」として指導を担っているケースが多く、その教員の異動後における指導者確保の見通しが立たない状況がある。

イ 大会出場のための資格要件

中体連等の大会への出場に必要な「コーチ1」などの指導者資格について、有資格者が不足しており、大会への出場が困難となる事態が懸念されている。

(2) 施設・備品の管理・運用ルール等

ア 備品の扱い

野球のピッチングマシンや吹奏楽器など、部活動で購入・使用してきた備品について、今後どのように管理・修繕・貸与していくのかが課題となっている。

イ セキュリティと動線の分離

吹奏楽の地域クラブなどが音楽室等の校舎内施設を使用する場合、間仕切りの設置や外部からの侵入を防ぐためのセキュリティ確保をどのように行うかが課題となっている。

ウ 施設の維持管理負担

体育館器具庫の鍵の管理や貸出対応のほか、グラウンドの除草やテニスコートの整備といった施設の維持管理を誰が担うのかが課題となっている。また、屋外活動時のトイレ不足や一般利用者のマナー悪化を懸念する声もある。

(3) 生徒の「受け皿」不足と多様なニーズへの対応

ア 地域に受け皿がない種目

男子バレーボール、美術、演劇など、後継となる地域クラブが見つからない種目もあり、活動機会を失う生徒が生じることや、持続可能な活動ができるのか不安視

する声がある。

イ 「ゆるく活動したい」 ニーズ

大会出場や競技力向上を目的とした既存のクラブは初心者には敷居が高く、「体を動かしたい」「ゆるく活動したい」といったレクリエーション志向や、「居場所」としての活動を求める生徒のニーズとの間にミスマッチが生じている。

(4) 情報提供の仕組みづくり

ア 情報提供について

生徒や保護者から「どのクラブに参加すればよいか」と相談を受けても、学校として特定の営利クラブを案内・推奨することには公平性の観点から配慮が必要であり、具体的な情報提供が難しい状況がある。

イ 早期周知の必要性

サッカーなど、種目によっては小学校6年生の段階で既に所属クラブを決めている場合も多いため、中学校入学後ではなく、小学校高学年の段階から地域クラブに関する情報提供を行う仕組みづくりが求められている。

(5) 部活動に代わる新たな居場所づくり

ア 生徒の主体的な活動に伴奏しようとする動き

生徒が運営する「放課後クラブ」、生徒会活動から派生した「サークル活動」、コースを設けた「放課後活動の時間」など、これまでの部活動の枠にとどまらない新たな放課後の活動が生徒から生み出される動きに対し、伴走しようとする学校の取り組みも見られる。

3 今後の対応

- (1) 学校訪問等を通じて把握した課題を整理し、地域クラブ関係者や学校との協議を進めながら、地域展開に向けた環境整備を進めます。
- (2) 指導者の確保・育成に向けて、資格取得補助や人材バンクの活用等を案内するとともに、持続可能な指導体制の構築を支援します。
- (3) 学校施設や備品の利用ルールについて整理を進めるとともに、施設管理や安全管理の在り方についても関係部局と協議を行います。
- (4) 地域クラブに関する情報を一元的に収集・発信する仕組みを整備し、小学校高学年からの計画的な情報提供を進めます。
- (5) 競技志向だけでなく、レクリエーション志向や居場所づくりなど、多様なニーズに対応した活動の充実を図ります。
- (6) 生徒が主体的に取り組む放課後活動やサークル活動など、新たな活動の創出を支援し、多様な学びや交流の機会の確保に努めます。

令和8年度 部活動の地域展開の状況について

1 趣旨

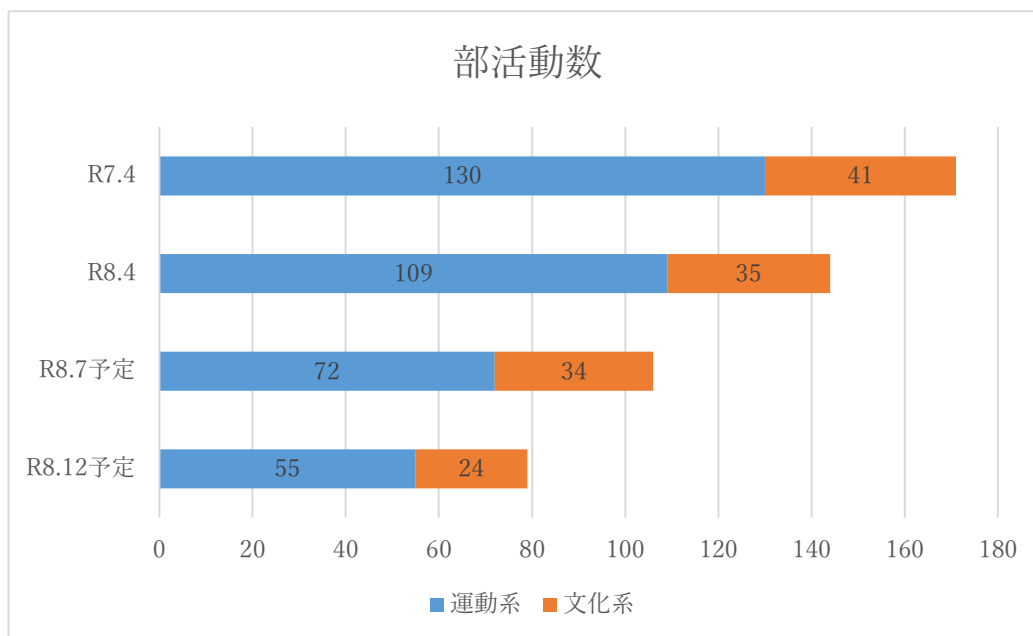
令和8年度末までに予定されている平日を含めた学校部活動の地域展開に向けて、現時点での各中学校における部活動の現状や今後の見通しについて整理し、報告するものです。

なお、本調査は令和8年6月に各学校へのヒアリングを実施した結果を取りまとめたものです。

2 中学校部活動の状況

(1) 部活動数

令和7年4月及び令和8年4月時点における各中学校の部活動数を比較するとともに、各校の計画に基づく今後の部活動数の見込みについて整理したものです。



時点	運動系	文化系	合計
R7. 4	130	41	171
R8. 4	109	35	144
R8. 7(予定)	72	34	106
R8. 12(予定)	55	24	79

本年度の部活動数は、昨年度から27部減少（廃部26部、男女統合1部）し、144部でスタートした。運動系については、6月の中体連大会または秋の新人戦終了後を区切りとして、平日の部活動の地域展開を進める（部活動を終了する）予定としている学校が多い。また、文化系については、文化祭や各種コンクールを節目として活動を終了する予定としている学校が多い。

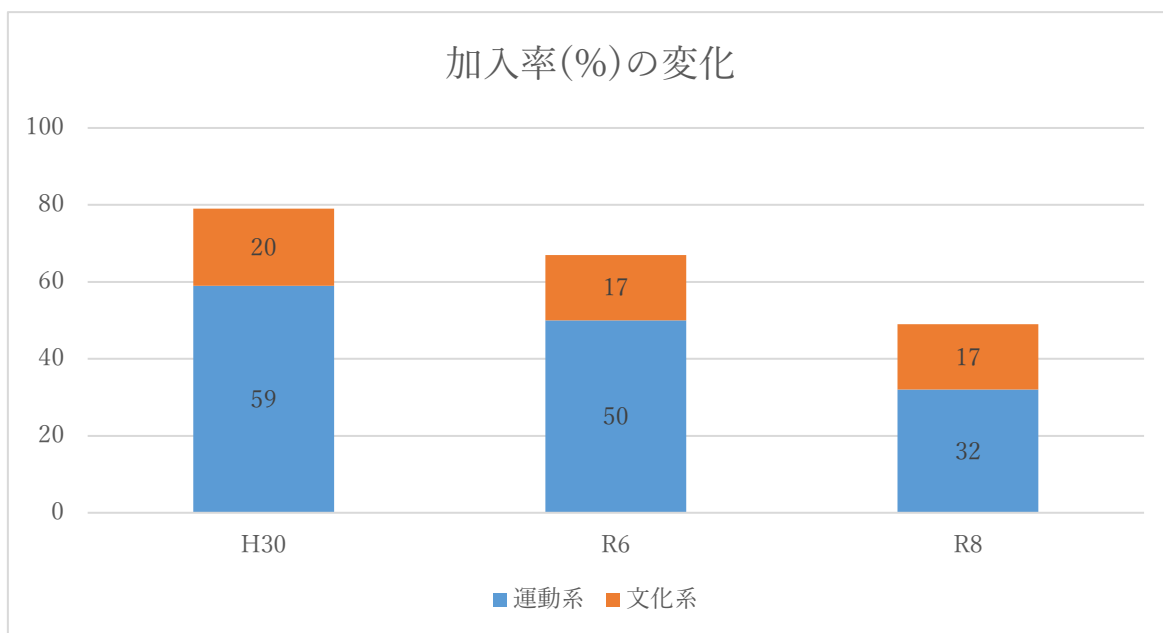
一方で、一部の運動系や美術部については、地域クラブ等の受け皿が確保できていない

ことから、年度途中での地域展開は困難と判断し、年度末をもって活動を終了する予定としている学校もある。

(2) 部活動加入率

平成 30 年度（地域展開前）、令 6 年度（地域展開開始時）及び令和 8 年度（休日部活動が終了し、平日の地域展開が進展している時点）における部活動加入者数及び加入率を示す。

年度	中学生	加入			未加入
平成 30 年度	5,858	4,626 (79%)	運動	3,468 (59%)	1,232 (21%)
			文化	1,158 (20%)	
令和 6 年度	5,645	3,799 (67%)	運動	2,807 (50%)	1,846 (33%)
			文化	992 (17%)	
令和 8 年度	5,512	2,706 (49%)	運動	1,740 (32%)	2,806 (51%)
			文化	966 (17%)	



部活動加入率は年々低下しており、本年度は初めて 50%を下回った。特に運動系においてその傾向が顕著であり、学校部活動以外の選択肢として地域クラブ等の受け皿が増加していることが要因の一つと考えられる。

一方、文化系の加入率に大きな変化は見られない。特に部員数の多い吹奏楽部については、吹奏楽を継続するために学校部活動に所属し、その活動を母体とする地域クラブにも参加する生徒が多い状況にある。部活動と地域クラブが同じ仲間や指導者によって運営さ

れていることに加え、楽器を学校から借用しているケースも多く、現時点では部活動以外の選択肢が限定的であることが背景にあると考えられる。

また、美術部についても、地域に受け皿となる活動やクラブがほとんど存在しないことから、美術部の活動継続を希望する生徒は、引き続き学校部活動を選択しているものと考えられる。

このような状況から、文化系全体の加入率には大きな変化が見られていない。

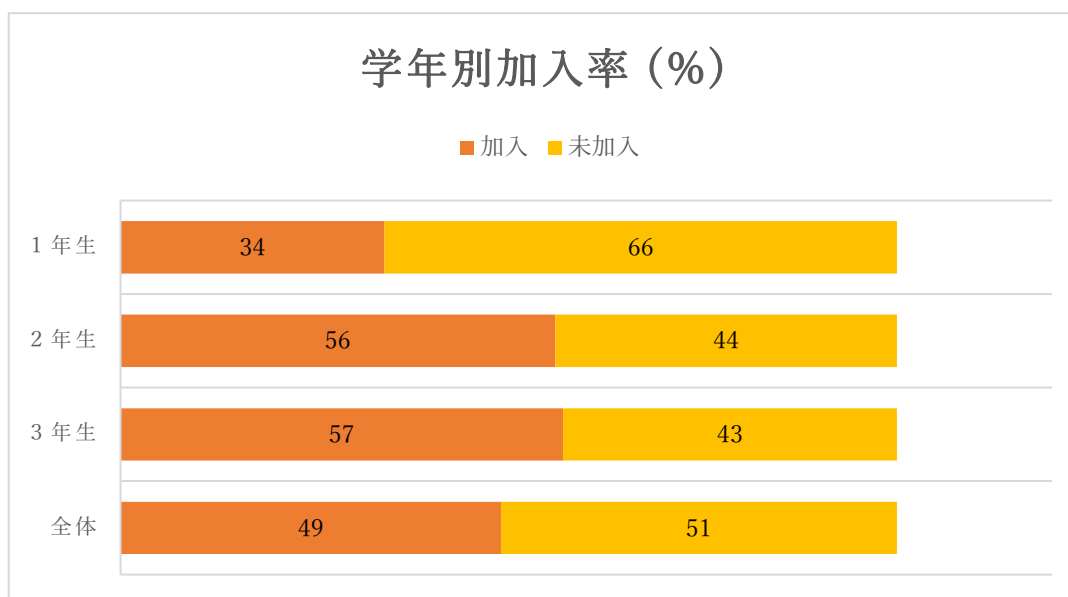
(3) 1年生の加入状況

ア 加入率

学年別の部活動加入率を示す。

1年生については、本年度途中から学校部活動の終了や地域展開が進むことを見据え、当初から地域クラブ等を選択する生徒が増えている。また、学校によっては1年生の募集を行わなかった部活動もある。このため、1年生の加入率は34%となり、2年生(56%)、3年生(57%)と比較して大幅に低い状況となっている。

学年	学年人数	加入	未加入
1年生	1,772	599 (34%)	1,173 (66%)
2年生	1,806	1,020 (56%)	786 (44%)
3年生	1,907	1,087 (57%)	820 (43%)
全体	5,485	2,706 (49%)	2,779 (51%)



イ 種目別の部活動加入数（人）

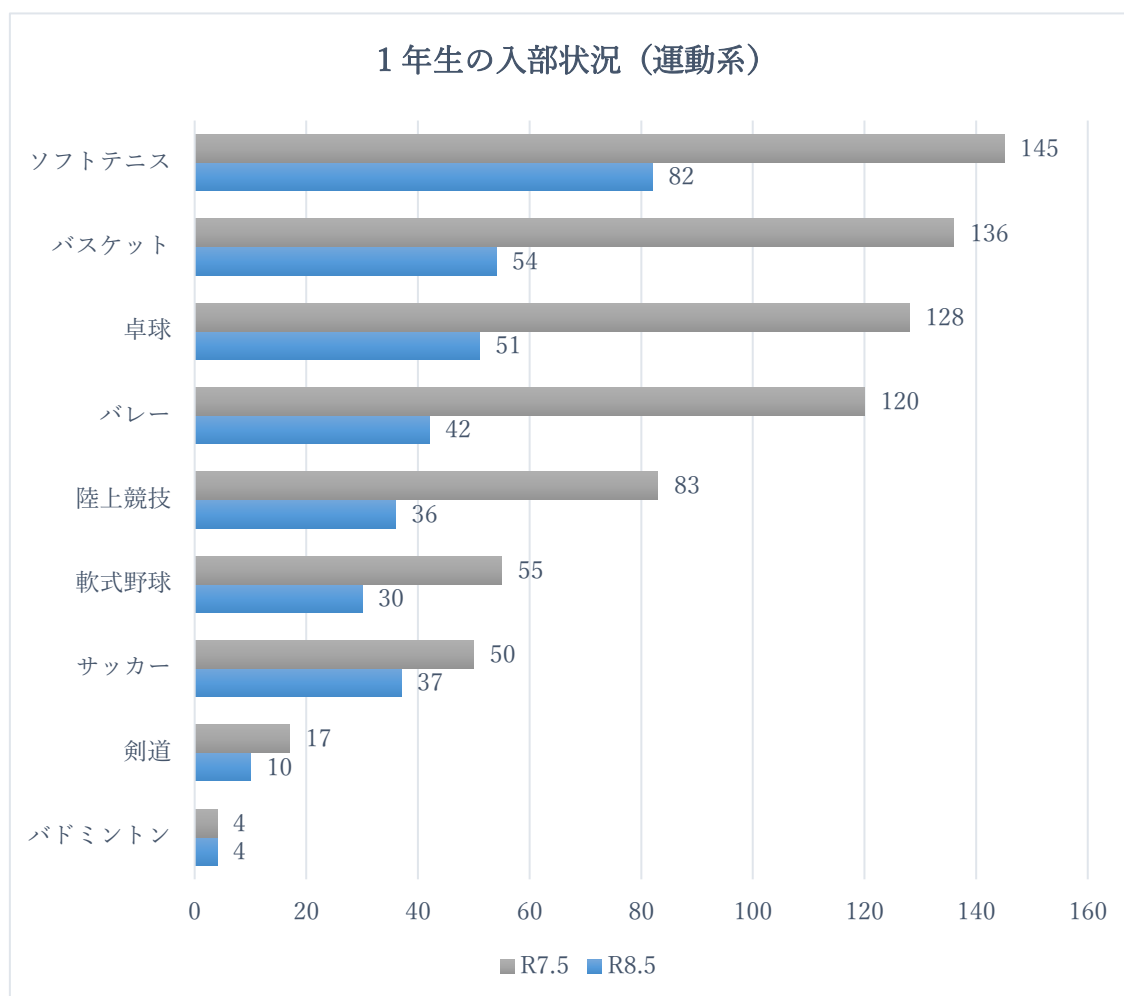
人気の種目は、運動系ではソフトテニス、バスケットボール、卓球、文化系では吹奏楽、美術であり、例年と大きな変化は見られない。

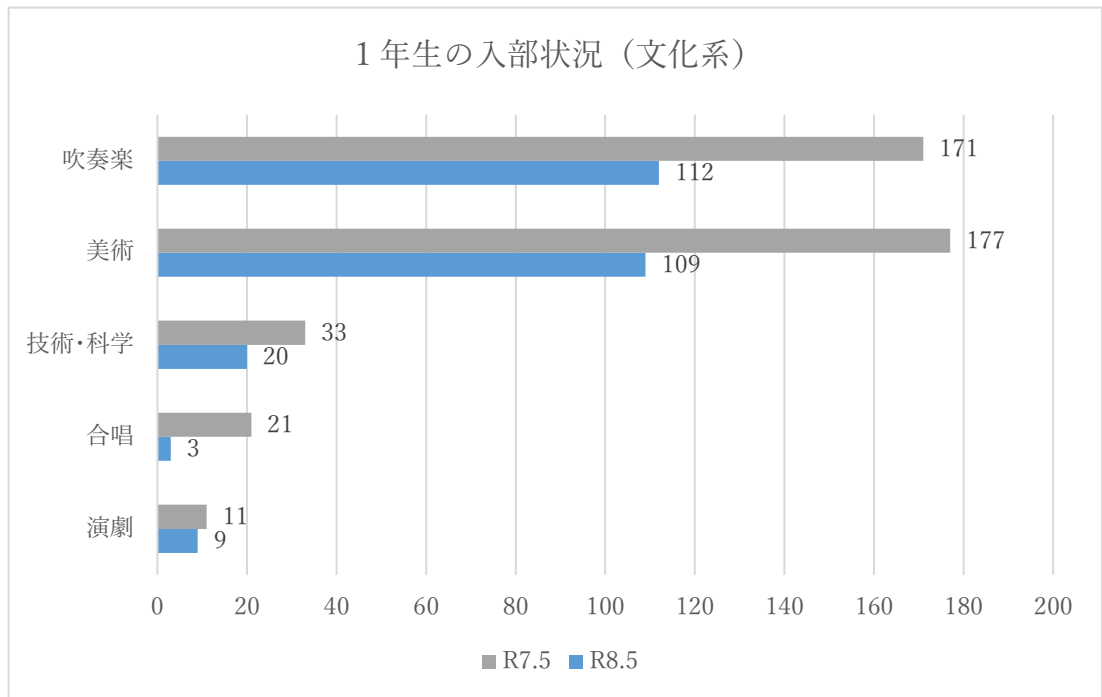
一方で、これらの種目への入部者数は大幅に減少している。その要因として、部活動の廃止（13校 26部）や1年生の募集停止（4校 24部）が進められたことが挙げられる。

また、本年度途中から学校部活動の終了や地域展開が予定されていることを踏まえ、入学当初から地域クラブを選択する生徒も見られた。このことから、新入生においては、学校部活動ではなく地域クラブを活動の場として選択する傾向が徐々に広がりつつあるものと考えられる。

運動系	ソフト テニス	バスケット ボール	卓球	バレー ボール	陸上 競技	軟式 野球	サッカー	剣道	バドミ ントン	合計
R7.5	145	136	128	120	83	55	50	17	4	738
R8.5	82	54	51	42	36	30	37	10	4	346

文化系	吹奏楽	美術	技術・科学	合唱	演劇	合計
R7.5	171	177	33	21	11	413
R8.5	112	109	20	3	9	253





3 今後の方向性

各中学校における地域展開（平日の地域移行）の状況について、夏季大会、新人戦、文化祭等の節目ごとに把握し、部活動数や加入状況の変化を継続的に調査していきます。

また、学校部活動の終了後における生徒の地域クラブへの参加状況や放課後の過ごし方についても実態把握を行い、生徒の活動機会や居場所の確保に向けた課題の整理を進めます。

さらに、中学校から学校部活動がなくなることに伴い、これまで実施してきた新入生向けの部活動説明会等の機会が失われることから、小学校6年生及びその保護者を対象とした地域クラブ説明会等を、中学校及び関係団体と連携しながら中学校区ごとに開催していきます。

あわせて、地域クラブに関する情報を分かりやすく発信し、生徒や保護者が適切に活動を選択できる環境の整備を進めていきます。

地域クラブマネジメント業務報告

令和8年度
第1回部活動地域展開検討協議会

令和8年7月1日（水）

シンコースポーツ株式会社

シンコースポーツ株式会社 事業紹介

施設マネジメント事業

PPP事業(指定管理者・PFI・リース)をはじめとして、公民問わずスポーツや文化施設の「価値を高め」「活性化に寄与する」事業に取り組んでおります。

各制度開始以前、当社では委託業務を中心に長らく施設マネジメントを地域の住民サービスの向上につながるよう工夫を重ねております。



地域支援事業

超高齢社会到来による高齢者の介護予防や子供たちの体力低下が叫ばれる中での適切な運動指導、中学校の部活動地域移行等、地域の健康づくりや教員の働き方改革において、民間のノウハウが強く求められている現状にあります。

当社は施設マネジメント事業で培った指導力向上を活かして、課題解決を地域の方たちとともに行って、これからも地域に欠かせないパートナーでありつづけられるよう目指しています。



まつチャレサポートデスク 対応状況

実施業務

- ☐ 問い合わせ、団体申請、補助金申請の確認支援
- ☐ 会議、学校訪問等におけるヒアリング・情報共有
- ☐ 地域クラブポータル（団体サイト）の整理業務

まつチャレ届出

8 件

創設支援補助金申請

8 件

お問合せ・ご相談

11 件

開始日
2026年4月21日
集計日
2026年6月25日

代表的なお問い合わせ内容

- ☐ まつチャレを新たに立ち上げる際の届出条件について
- ☐ まつチャレと一般地域クラブの違い（金銭面・補助金の活用方法）
- ☐ 届出時に登録するメールアドレスの変更可否・用途について
- ☐ HPのユーザーID・パスワード入力後に次画面へ進めない問題

令和8年度 部活動の地域展開等の全国的な実施について

●自治体の部活動地域移行を財政面・運営面から支援し、子どもたちの安全で質の高い活動環境を整備する。

①地域展開・地域クラブ推進

- 休日の地域クラブ活動の活動費等を支援
- 経済的困窮世帯の生徒への参加費・保険料を支援
- 推進体制の整備

② 伴走支援・安全安心の担保

- 相談・サポート窓口設置、アドバイザー派遣
- 取組状況調査と課題への対応策創出・好事例横展開
- 指導・リスクマネジメントの手引き作成
- 動画ポータルサイトの運営

③部活動指導員の配置支援

- 各学校・拠点校に部活動指導員を配置
- 指導や大会引率等を担う
- 配置数：17,320人
(運動部13,620・文化部3,700)

④スポーツ環境の構築

- 中学校施設の整備・改修の支援
- 指導員養成の講習会や暴力等の根絶に向けた啓発活動の実施
- 大学生による継続的な指導構造の構築

令和8年度第1回 松本市学校部活動の地域展開検討協議会

地域クラブポータルサイト構築業務 および地域クラブ連絡ツール使用に係るご報告

令和8年7月1日

アスフィール株式会社 学校デジタル支援事業部

弊社から松本市様へのご提供サービス

ASFEEL

まつチャレサポートデスク

- 各種情報発信
- 認定他各種申請の入口



お知らせ

2025年03月28日(金) まつチャレサポートデスクコールセンター終了のお知らせ

お知らせ一覧

活動できる団体を探す

団体の検索はこちらから

検索ボタンを押すと検索結果が表示されます。
※外部サイトに遷移します。

国・長野県・松本市のガイドラインはこちら

国のガイドラインや都道府県地域移行推進計画など、松本市としての取り組みをご確認ください。

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の
在り方等に関する総合的なガイドライン

長野県地域クラブ活動推進ガイドライン
長野県中学生のスポーツ・文化活動活動計画

松本市部活動地域移行推進計画

松本市ホームページへのリンク まつチャレ(まつもと子どもチャレンジクラブ)について

まつチャレ地域クラブポータル

- まつチャレ市内クラブの検索・入会
申込の入口



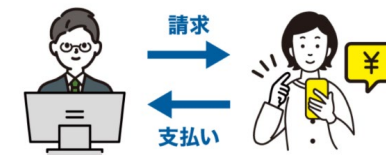
部活アプリ/クラブマネージャー

- クラブ内連絡・予定共有・出欠管理・集金等、地域クラブ運営に必要な機能が搭載された運営支援ツール



自治体・管理団体

保護者



松本市

まつチャレサポートデスク

地域クラブ (指導者)



まつチャレ申請
各種届出
県人材バンク登録

情報発信



問合せ

情報発信

保護者・生徒



リンク

まつチャレ地域クラブポータル



クラブ情報掲載・編集

お知らせ配信

クラブ検索・加入申込
イベント参加申込

連携



来訪者数

348

人

開設2ヶ月の累計

初めて来た人

305

人

来訪者全体の約88%

平均滞在時間

54

秒

1人あたりの平均

総操作・閲覧回数

3,747

回

クリック・ページ表示の合計

どこから来たか（上位）

Google検索 99人 32.4%

松本市公式サイト経由 83人 27.1%

URLを直接入力 66人 21.6%

Yahoo!検索 42人 13.7%

Instagramから 30人 9.8%

よく読まれたページ（上位）

1. トップページ 643回 / 339人

2. クラブ掲載の申込方法 42回 / 26人

3. まつチャレの届出手続き 27回 / 18人

4. 届出に必要な資料について 22回 / 13人

5. Q1. 松本市の部活動地域移行 21回 / 18人

来訪地域・考察と今後

来訪が多い地域（上位）

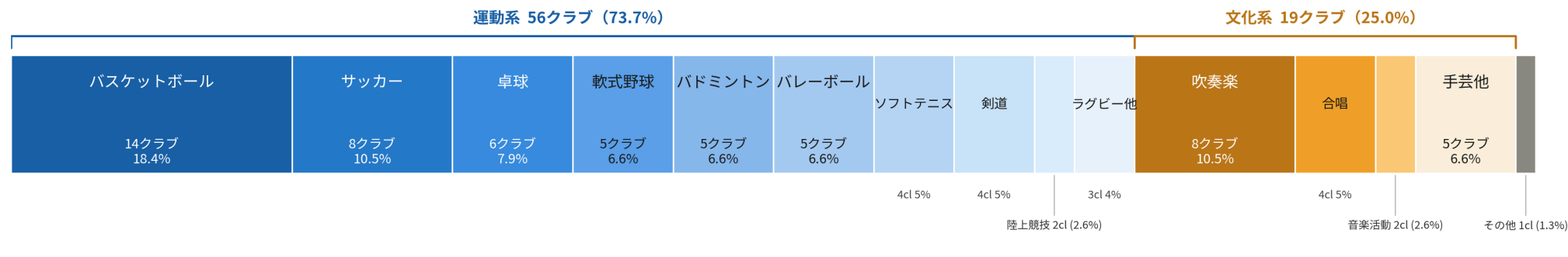
松本市 125人 36.2%

新宿区 27人 7.8%

大阪市 23人 6.6%

長野市 21人 6.1%

- 松本市からの来訪が最多（全体の36%）
- Google検索と市公式サイトで約60%を獲得
- 滞在時間54秒は短め→ページ内容の充実が課題
- 次回報告（3ヶ月後）でアクセス推移を比較予定



現状

- ・ 76クラブ・26種目が掲載
- ・ バスケットボール・サッカー・吹奏楽など主要部活動種目を概ねカバー
- ・ ボルダリング・ウェイトリフティングなど、部活動にない種目のクラブも掲載済み

課題

- ・ 文化系クラブが全体の25%にとどまる
- ・ 書道・美術・演劇など未掲載種目が多数
- ・ 硬式野球・水泳・体操など掲載ゼロの種目が残存

追加実装の機能

- ・ **イベント募集機能**
練習体験会等のスポットイベントの情報掲載・参加者募集ができる機能を実装予定

ご利用状況

クラブ名	登録生徒数	利用機能
松島ウインドアンサンブル	44名	チーム連絡・スケジュール・チーム記録（活動報告）
鉢伏ウインドアンサンブル	50名	チーム連絡・スケジュール・チーム記録（活動報告） 集金（予定）

今後の展望

- 利用クラブ数増
 - 松本市と連携し、安心安全な連絡体制構築・クラブ運営効率化に寄与できるツールとして周知広報を進める
 - （案①）まつチャレ地域クラブポータル内の「お知らせ配信」機能にて、全クラブにアプリ活用を周知
 - （案②）まつチャレサポートデスク内にアプリ紹介ページを開設

運動系部活動の地域展開の状況及び今年度の取組みについて

- 1 中学生が参加できるスポーツクラブの状況について
まつチャレ：60団体（総数は4団体の増、3月24日報告比）
詳細は、別紙1のとおり
- 2 今年度の取組みについて
 - (1) スポーツ医学に基づいた指導者研修（R7～）【継続】
成長が著しい中学生期の指導を行う上で、けがの予防に関する正しい知識を身に付けてもらうため、スポーツ医学の専門的による研修を年2回開催するもの
 - (2) 公認スポーツ指導者資格取得推進事業（R5～）【継続】
指導者の質及び量の確保を目的に、公認スポーツ指導者資格取得に係る経費を補助するもの
※受講料：1/2(上限2万円)、登録料：1/8(4年更新)or1/2(1年更新)(上限2,500円)
 - (3) 松本市地域クラブ創設支援補助金（R6～）【継続】
地域クラブの創設に必要な経費に対して補助を行い、その設立を積極的に促進するもの
※1回目：10万円、2回目：5万円

【令和8年度申請状況】 令和8年6月22日現在
1回目クラブ：3件 2回目クラブ：4件 合計：7件
 - (4) プロスポーツ連携事業（R6～）【継続】
 - ア 派遣コーチング
地域クラブ等に対してプロスポーツチームの選手または監督、コーチを派遣し、生徒及び指導者がより専門的な指導を受けられる機会を創出するもの
 - (ア) 指導者 プロスポーツチームの選手または監督など
 - (イ) 時間 2時間/回
 - (ウ) 回数 5回/チーム
 - イ 指導者研修会
指導者の専門性及び資質向上を目的に、プロスポーツチームのノウハウを活かした研修を開催するもの
 - (ア) 講師 プロスポーツチームの選手または監督など
 - (イ) 内容 コンプライアンス等について、技術指導の方法について
 - (ウ) 時間 各2時間/回
 - (エ) 回数 各1回/チーム
 - (5) 中学校への学校訪問（R8）【新規】
市総括コーディネーターと各部局の担当者が中学校を訪問し、現場の課題等を整理し、今後の事業を検討するもの（5月中に実施）

【指導者関連】

- ・教員が指導者の場合における地域クラブの持続可能性
- ・大会出場時に大会主催者が求める指導者資格の保有者が不足している懸念

【クラブの受け皿】

- ・運動系における「居場所」「レクリエーション志向」という生徒の受け皿

【周知啓発】

- ・教員が生徒に対して、どの地域クラブを紹介して良いかという点に苦慮
- ・中学校入学時には、既に地域クラブへ入会している生徒もいるため、小学生への周知が必要

3 今後について

- (1) 継続して生徒や指導者に対する研修・指導の場を提供するとともに、地域展開の活動において必要となる経費の補助を実施します。
- (2) 中学校訪問時の聴取結果を基に、教育委員会と連携し、課題解決に向けた取組みを検討します。

中学生が参加できるスポーツクラブの状況について

R8. 5時点

R8. 6. 22時点

種目	部活	男女内訳 (チーム数)		人数 (1～3年)	まつ チャレ	男女内訳 (チーム数)		クラブ所在地						その他 クラブ	男女内訳 (チーム数)		クラブ所在地					
								北部	南部	東部	西部	中心部	山間部				北部	南部	東部	西部	中心部	山間部
陸上	12	男女	12	195	2	男女	2	1	1					2	男女	2	2					
ソフトテニス	14	男女	14	379	4	男女	4	1	1	1	1			1	男女	1				1		
バレーボール	24	男女	—	—	5	男女	1	1						3	男女	0						
		男	8	95		男	2		1		1				男	1				1		
		女	16	206		女	2				1	1			女	2		1	1			
バスケットボール	26	男女	—	—	14	男女	5		1	2		2		4	男女	0						
		男	14	185		男	2		1		1				男	2				1	1	
		女	12	157		女	7	1	1	2	3				女	2			1	1		
卓球	13	男女	13	326	6	男女	6	1	1	1	1	2		4	男女	4	1			2	1	
軟式野球	11	男女	11	129	5	男女	5	1	1	1	1	1		0	男女	0						
サッカー	5	男女	5	111	8	男女	7	1	1	1	3	1		0	男女	0						
		女	1			女	1				1											
バドミントン	3	男女	3	22	5	男女	5	3		2				1	男女	1				1		
剣道	4	男女	4	37	4	男女	4			1	3			8	男女	8	2	3	2	1		
ラグビー	0	—	—	—	1	男	1				1			0	男女	0						
スポーツクライミング	0	—	—	—	1	男女	1				1			0	男女	0						
ドッジボール	0	—	—	—	1	男女	1					1		0	男女	0						
居合道	0	—	—	—	0	男女	0							1	男女	1		1				
テニス（硬式）	0	—	—	—	0	男女	0							1	男女	1				1		
ボクシング	0	—	—	—	1	男女	1					1		0	男女	0						
ウエイトリフティング	0	—	—	—	1	男女	1					1		0	男女	0						
ダブルダッチ	0	—	—	—	1	男女	1					1		0	男女	0						
ゲートボール	0	—	—	—	1	男女	1	1						0	男女	0						
合計	112		112	1,842	60		60	11	9	11	18	11	0	25		25	5	5	4	9	2	0

＜参考＞ 北部：会田、女鳥羽、旭町／南部：筑摩野、菅野、鉢盛／東部：山辺、清水、開成、明善／西部：松島、高綱、梓川、波田

中心部：丸ノ内、鎌田、信明／山間部：安曇、大野川、奈川

※附属中学校は、除く。

文化系部活動の地域展開の状況について

1 趣旨

文化系部活動の地域展開に向けた取組状況について報告するものです。

2 経過（前回報告（R8.3.24）以降）

R 8. 5. 7 吹奏楽部顧問会議
1 3 ～ 2 8 中学校への訪問（1 9 校）

3 文化系の地域展開に関する課題（学校訪問での聞き取りから）

(1) 指導者の不足

- ・兼職兼業の指導者の持続性（吹奏楽）
- ・専門的な指導者の不足（美術・演劇）

(2) 受け皿の不足

- ・各学校でクラブ立ち上げの予定がなく、地域クラブもない（美術・演劇）
- ・長野高専との連携事業の持続性（科学）

4 まつチャレ（地域クラブ）の設立状況

文化系のまつチャレ団体数：1 6 団体（R8.6.22 時点）

No.	種別	団体数	備考
1	合唱	4	波田合唱クラブ SK 松本ジュニア合唱団 菅野合唱クラブ <u>波田少年少女合唱団</u>
2	太鼓	1	神林太鼓連子供太鼓
3	マーチングバンド	1	松本シティーマーチングバンド
4	麻雀	1	ニューロン子ども麻雀教室
5	オーケストラ	1	まつもとジュニア室内楽団
6	吹奏楽	7	鉢伏ウインドアンサンブル 松島ウインドアンサンブル <u>A Z U S U I</u> <u>波田吹奏楽団</u> <u>松本 S K Y ウインドオーケストラ</u> <u>四賀ウインドアンサンブル</u> <u>美ヶ原ジュニアウインドオーケストラ</u>
7	手芸	1	わくわく手芸クラブ
合計		1 6	

※下線部は令和 7 年度第 4 回松本市学校部活動の地域展開検討協議会以降に登録された団体

5 松本市地域クラブ創設支援補助金交付状況

令和7年度実績 1団体 100,000円

令和8年度申請（6.22時点）6団体

6 今年度の取組み

(1) 文化芸術団体へのアンケート調査（R5に一度実施済み）

(2) 地域指導者掘り起こしのための文化芸術団体への声かけ

(3) （一財）松本市芸術文化振興財団への中学校部活動地域展開に関する相談

※通年を通した生徒の受入先として、サークル活動事業検討

(4) まつもと市民芸術館で開催されている演劇サークル等の中学生への紹介

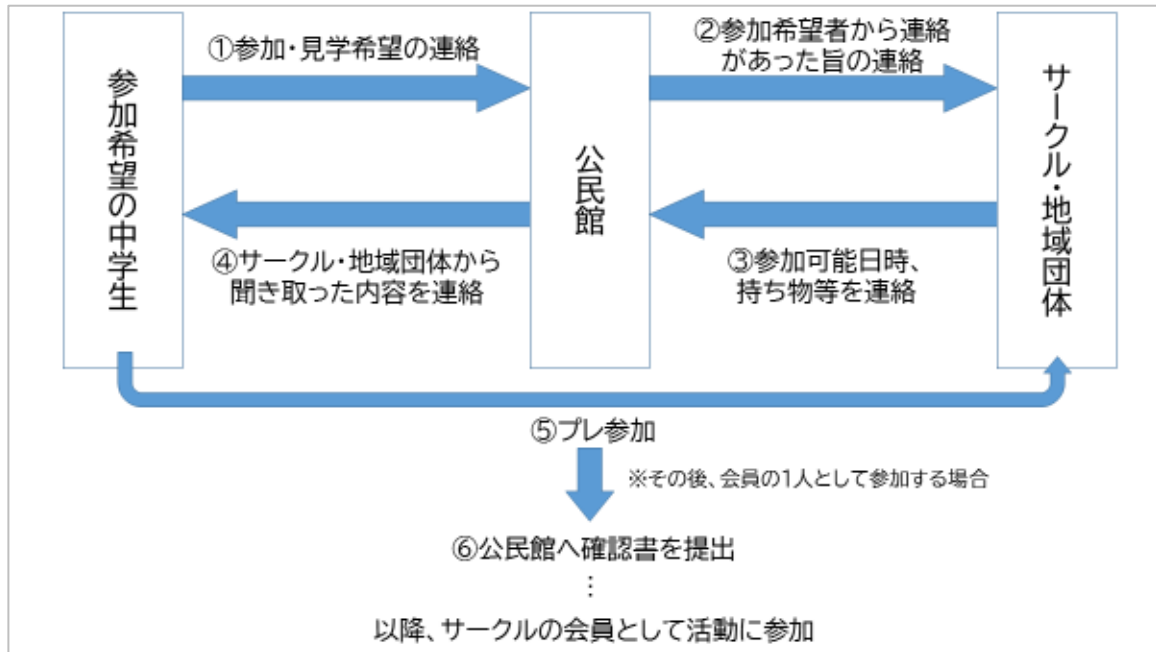
(5) まつチャレの加盟促進及び、クラブ化に向けた団体の相談・サポートの随時実施

部活動の地域展開に伴う公民館サークル等の受入れ体制について

1 趣旨

中学生が、公民館サークルや地域団体へ参加する際の受入れ体制を整えましたので、報告します。

2 全体の流れ



3 確認書の提出について

(1) 確認書

別紙「公民館サークル等への参加に関する確認書」を参照

(2) 記入した確認書の原本は、公民館サークル等へ渡し、コピーを各公民館で保管します。

(3) 提出は、年度や期間を問わず、一度のみとします。ただし、参加する公民館サークル等を変更する場合は、再度、確認書の提出を求めます。

4 その他

(1) 受入れ可能な公民館サークル・地域団体の一覧は、別紙のとおりになります。なお、活動時間や内容が流動的であり、今後、新規登録する団体もあることから、定期的に一覧表の更新を行います。(各年度末を予定)

(2) 一覧表は、市HP等に掲載します。各公民館でも、近隣の学校と相談しながら、効果的に周知を行います。

(3) 各公民館において、文化祭をはじめとする地区行事で、中学生受入れ可能団体の活動体験会などの開催を検討したり、学校が主催するクラブ体験会へ協力したりするなど、周知活動を行います。

公民館サークル等への参加に関する確認書

公民館で活動するサークルや地域団体の活動は、まつチャレや中学生が主に活動する地域クラブ等の活動ではありません。参加にあたっては、以下の内容をご確認いただき、ご理解のうえご参加ください。

◆確認事項◆

- ☐ まつチャレ等の活動ではないことを理解しました。
- ☐ 市や学校が主催する活動ではないことを理解しました。
- ☐ 団体のルール（活動内容や参加費、方針等）や指導者の方針を理解し、会員として活動します。
- ☐ 活動中の事故やトラブルについて、市や学校及び公民館が責任を負わないことを理解しました。
- ☐ 公民館内での活動中にケガをした場合は、公民館賠償保険の対象となることを理解しました。（※公民館外で活動している場合は、サークルで加入している保険の内容をご確認ください。）
- ☐ 送迎や帰宅時間の管理は、各家庭で対応します。

_____年_____月_____日

参加するサークル名：_____

参加者：_____中学校____年 氏名：_____

保護者氏名：_____

公民館で活動する中学生も参加可能な団体一覧

No.	団体名	活動分野	活動内容（詳細）	活動日時	会費	特記事項	連絡先
1	英会話研究会	語学	アメリカ人講師による実践に使える英会話を身につけるための英語学習	第1・2・3月曜日 19時～20時30分	3,000円/月		中央公民館 (Mウイング) Tel. 0263-32-1132 松本市中央1-18-1
2	S Q L	クイズ	自作のクイズや問題集からクイズを出し合う	不定期	300円/回程度	事前に相談	
3	Mウイング韓国語講座（夜）	語学	韓国語学習、韓国文化やニュースを勉強	土曜日 19時～20時30分（変動あり）	600円～/回		
4	M J U	音楽	ジャズやアイリッシュなどの音楽の練習、演奏、ワークショップ等	不定期	なし		
5	劇団 友歩堂	演劇	演劇公演に向けての練習	不定期			
6	コスモス短歌会 松本勉強会	短歌	短歌の勉強会	第2日曜日 10時～12時	1,000円/月		
7	The BigBand of MusicToys	音楽	中学1年生～高校3年生。楽器練習・演奏会など。県内外各地でのイベント出演などで演奏	木曜日・日曜日（月2回ずつ） 木：17時30分～21時 日：13時～17時	3,500円/月		
8	MusicToys KIDS×KIDS	音楽	小学4年生～中学2年生。楽器練習・演奏会など。県内外各地でのイベント出演などで演奏	日曜日（月2回～3回）13時～17時	1,500円/月		
9	jade	ダンス	ジャズダンス	火曜日 19時～			
10	信州イスラーム世界勉強会	語学	アラビア語研修。講演会/美術展/セミナーを開催	年3～4回 週末（不定期）	5,000円/年		
11	聖書研究会	聖書	聖書の勉強会	第2土曜日 13時～17時	なし		
12	Fridayストレッチ	ストレッチ	ストレッチ	金曜日 19時30分～20時30分	5,000円/3ヶ月		
13	松本市日本舞踊 松風流子供教室	舞踊	日本舞踊の稽古	第2・4日曜日 9時～12時			
14	松本チェスクラブ	チェス	チェスの練習、交流	第3土曜日もしくは第3日曜日	500円/回		
15	松本ブルメリア	ダンス	フラダンスレッスン	第2・4土曜日 13時～17時	3,300円/月 事務費1,000円		
16	まつもと模型倶楽部	模型	模型（主にプラモデル）の制作 工作・塗装技術などの情報交換、完成品のお披露目など	第1・3水曜日 17時30分～22時	2,000円/年		
17	八光流健武会	古武術	八光流柔術を中心に剣術・杖術・操体法・礼式・礼法、療術を学びます。	土曜日 18時30分～22時	なし		第三地区公民館 Tel. 0263-36-7040 松本市中央4-7-28
18	健武会Ⅱ	古武術	「こわい」「いやだ」から自由になって心も身体も貴女を貴女らしく輝かせる護身術のワークショップ	火曜日 19時～21時	550円/回		
19	北アルプスかるた会	かるた	百人一首競技かるた	日曜日（または土曜日）	なし	小学生も参加可能	
20	波田少年少女合唱団	合唱	小学生から大学生までの歌が大好きな仲間で合唱しています。発表会もあります。	毎週日曜日 13時～16時	2,000円/月 入会金3,000円	小学生も参加可能 ★まつチャレ登録団体	
21	雅の会	着物	道具を使わず、紐での昔ながらの着付け、帯結びを学びます。風呂敷やのし袋などの作法や美しい所作についても勉強します。	第2・4土曜日 10時～12時	4,000円/月		
22	ポーマイカイ	ダンス	女性対象。フラダンスを始めてみたい方、仲間と楽しく健康増進、身体を動かしてリフレッシュしましょう。	木曜日 19時30分～21時	4,500円/月	小学生も参加可能	
23	エイボンイングリッシュグループ	語学	中学3年生以上が対象。ネイティブ（英国人）による実際に使える英会話学習。（スピーキングとヒアリングに重点）	木曜日 18時30分～19時30分	1クール 12レッスンで 22,000円		
24	ロケラニ	ダンス	フラダンスで心も体もハッピーに。健康的に楽しく学んでいきましょう。	月曜日 17時30分～21時50分	4,000円/月	小学生も参加可能	
25	日本棋院囲碁教室	囲碁	囲碁を覚えたい人、強くなりたい人対象	金曜日 13時15分～16時 人数集まれば土日も対応可	なし		
26	アンサンブルルミネ	合唱	女声合唱を楽しむ団体です。合唱未経験でも大丈夫です。ボイストレーニングもやります。	第2・4日曜日 17時30分～20時30分 （第1・3日曜日の時もあり） 演奏会前は3～4回	4,000円/月		
27	バラタナーティヤム研究会・ ナーティヨーダヤ	舞踊	インドの神々に祈りをささげる踊り。体操やストレッチ、ヨガもしながらインド古代芸術に触れてみましょう。	主に毎週土曜日 午後 平日は不定期	500円/年		

公民館で活動する中学生も参加可能な団体一覧

No.	団体名	活動分野	活動内容（詳細）	活動日時	会費	特記事項	連絡先
28	マツモト・ザザ座	演劇	演劇を中心とした表現を通して新しい「あなた」と「わたし」に出会いませんか？お芝居に興味のある方も、お芝居や公演の制作に携わってみたい、という方も大歓迎です！	週1日～3日（週末中心） 金曜日・土曜日・日曜日のどこか	なし	※イベントが近づくにつれ稽古日数も増えます	第三地区公民館 Tel. 0263-36-7040 松本市中央4-7-28
29	ユースサーカス	サーカス	サーカス文化を通して仲間と共に楽しく色々な技を学びましょう。	水曜日 19時30分～21時	2,000円/回	小学生も参加可能 (5年生以上)	
30	第三地区吹矢体験ひろば	スポーツ	スポーツウエルネス吹矢の練習。随時体験の受付、指導をします。	火曜日または金曜日 13時30分～15時30分 休日に開催する場合もあり	500円/月	小学生も参加可能	
31	子ども食堂 はらぺこあおむし	ボランティア	松本市の子どもの居場所づくり推進事業の一環として子どもへの食事提供、遊びや学びの支援をしています。	月に1～2回	なし		
32	しおんの会	書道	硬筆研究「華」というテキストを使って月1回課題を提出します。先生という立場の人はいません。お互いに教えあっています。	第3または第4木曜日（月1回） 18時30分～20時	テキスト代 通信費のみ		
33	ブルーローズ	フラワーアレンジメント	お花が好きな人ならどなたでも参加できます。フラワーアレンジメントやブリザーブドフラワーの作品作りを楽しみます。	木曜日 17時30分～20時	3,700円/月		
34	Kizo-Bacha-saisa	ダンス	ソーシャルダンス	不定期	1,500円/回		城北公民館 Tel. 0263-38-0120 松本市開智2-3-39
35	三匹のこぶた	音楽	イングリッシュハンドベルの演奏、生涯学習として脳トレ	不定期			
36	新せせらぎ	ダンス	社交ダンス	第1・3土曜日 14時～16時			
37	はつらつ健康教室	ヨガ	健康維持のためのヨガ、体操	第2・4月曜日 19時30分～21時			庄内地区公民館 Tel. 0263-24-1811 松本市出川1-5-9
38	NPO法人 森倶楽部21	自然	自然観察、里山整備	第1・2・3火曜日 9時30分～14時 第4日曜日 9時30分～14時		安曇野市長峰山で実施	
39	沖縄唱三線 ていだ	音楽	唱、三線の練習	第1・3月曜日 9時～12時30分 第2・4日曜日 9時～12時30分			
40	こども食堂 おぼっこ	ボランティア	工作補助など	不定期	なし		
41	さんところ	音楽	和太鼓の演奏	土曜日・日曜日	3,000円	会場は変動あり	
42	子育てサークルkaokao	ダンス	フラダンスのレッスン	第1・2月曜日・木曜日 午前	大人500円 子ども無料	会場は変動あり（なんなんひろば）	
43	日本精神療法学会	心理学	お悩み相談、グループワーク、学習活動 など	第1・3金曜日 18時30分～20時30分	なし		
44	フラサークル プルメリア	ダンス	フラダンスのレッスン	第1・3土曜日 13時30分～			
45	庄内ハンドベルリンガーズ	音楽	ハンドベルの演奏体験	基本は第1・3土曜日 午前	3,000円	不定期のため事前確認が必要。5名集まればチーム編成して活動可能	
46	エコクラフト	工作	小さな小物入れ等の作成	木曜日 9時30分～11時45分 (場合によって金曜日に)			
47	太極拳 柔拳会	スポーツ	太極拳の指導	金曜日 19時～	2,000円		
48	二胡教室 松本庄内	音楽	二胡のレッスン（初級から上級までレベル別に講師から習う）	第1・3土曜日 9時～12時30分 (場合によっては鎌田公民館)		講師謝礼が必要	
49	松本市スポーツウエルネス 吹矢協会松本アルプス支部	スポーツ	吹矢の練習	土曜日 17時30分～20時30分	1,000円/月 子ども500円	保護者同伴、見学は無料	
50	P.V.E	合唱	ポリフォニックヴォーカルアンサンブル	日曜日（月1回） (場合によっては土曜日、祝日に)			
51	フラサークル マカラニ	ダンス	フラダンスのレッスン	土曜日 午後（月2回）		中高生クラス有り	
52	松本ラウアエ	ダンス	フラダンスのレッスン	日曜日 10時～12時			
53	ウルトラスターズ	スポーツ	水泳練習、大会出場	第2・4日曜日 13時～	活動費あり	※知的障がい者のみ	
54	ズンバビーノ	ダンス	ズンバのレッスン (様々なダンスの基本が詰め込まれているズンバ)	土曜日または日曜日 19時30分～20時30分	700円/回		
55	アルリナ	音楽	トリプルオカリナの体験、アンサンブルを楽しむ	第1・3土曜日（場合により日曜日） 午前中	なし	楽器の購入が必要	
56	フラ・背骨ストレッチ	スポーツ	ハワイの伝統的な踊りを学ぶ	別の時間等配慮します			
57	まままつもと	交流	料理教室などできます	不定期		イベント毎集金あり	

公民館で活動する中学生も参加可能な団体一覧

No.	団体名	活動分野	活動内容（詳細）	活動日時	会費	特記事項	連絡先
58	陶和会	陶芸	陶芸作品の作成	水曜日 夜間	未定		鎌田地区公民館 Tel. 0263-26-0206 松本市両島5-50
59	陶愉会	陶芸	陶芸作品の作成	日曜日 午前・午後	未定		
60	永先太極の会	武術	太極拳を学ぶ	第2・4金曜日 夜間	未定		
61	日本将棋連盟松本支部	将棋	将棋の対局、大会の開催	第3・5日曜日 午前・午後	未定		
62	松本日中友好協会中国語講座	語学	中国語の習得、交流会の開催	金曜日 夜間	未定		
63	沖縄三線ゆいまーる	音楽	沖縄伝統楽器の三線の演奏を学ぶ	日曜日 午前・午後		楽器の購入が必要	松南地区公民館 Tel. 0263-26-1083 松本市芳野4-1
64	楽しい水墨画	芸術	水墨画の練習、墨の濃淡の出し方（調墨法）、いろいろな表現法を学ぶ	第2・4土曜日 午前		道具は各自で用意。活動日に行けば参加可能	
65	中国語会話	語学	中国語テキストを使用し、中国語会話の学習や中国の文化・習慣を学ぶ	日曜日 午後		小学生も参加可能	
66	伝統文化いけばな親子教室	生け花	日本の伝統文化を体験し、生きた草花にふれる楽しさを味わい、心静かに自分に向き合う時間を持つ	不定期 午前中	材料費	小学生も参加可能	
67	伝統文化ひまわり会	生け花	親子で楽しく花に向き合い花を通し、花の心を学んで後世に伝えていくことを目的とする	第2土曜日 午後	材料費	小学生も参加可能、保護者同伴	
68	松本日曜発明学校	発明	日常生活の中で感じた不便等解決のアイデアを持ち寄る	第1日曜日 午後		保護者同伴が望ましい	
69	松本マジックサークル「スマイル」	マジック	マジックを愛好するものがマジックの基本を学び、技術の習得向上を図り、マジックを通じて親睦を深める	第1・3土曜日 午後 第2・4木曜日 夜間		小学生も参加可能	
70	ロコマイカイ	ダンス	フラダンスの練習	火曜日 18時～19時（月2回）	2,500円/月	親子での参加も可能	島内公民館 Tel. 0263-47-0264 松本市島内4970-1
71	しまうちウクレレの会	音楽	ウクレレアンサンブル	日曜日 10時30～11時50分（月2回）	500円/年		
72	島内剣道教室	スポーツ	剣道の稽古、試合等	水曜日 17時30分～19時 土曜日 14時30分～16時30分	3,500円/月	小学生も参加可能 ※中学生は出稽古の扱い（1回200円が必要）	
73	信州そば打ち 美蕎麦交流会	そば打ち	そばの手打ち作業	不定期（月2回 うち1回は土曜日） 13時～16時	3,000円/月	見学のみもOK	
74	島内白板ベアーズ	スポーツ	野球の練習、試合	土曜日・日曜日・祝日	7,000円/月	リトルリーグ（中学1年生まで受入れ可）	
75	バーレンコール	合唱	合唱の練習	水曜日・土曜日 19時～21時30分	4,000円/月		
76	島内おはなしサークル銀の鈴	読み語り	絵本等の読み語り	第2月曜日 19時30分～	3,000円/月		
77	リズム体操	ダンス	音楽に合わせた体操	第2・4木曜日 19時～21時			
78	くれき句会	俳句	俳句の作成、評価	最終土曜日 14時～			
79	誠舟流吟道館	詩舞	詩吟と舞踊	第1・3日曜日 13時30分～16時			
80	和田ヨガサークル	ヨガ	ヨガ	第1・3木曜日 19時30分～21時			新村公民館 Tel. 0263-48-0375 松本市新村2179-7
81	大地讃頌を歌う会	合唱	和田地区芸術文化祭での発表に向け、合唱の練習	第4日曜日 13時30分～15時			和田公民館 Tel. 0263-48-5445 松本市和田2240-31
82	神林太鼓連子供太鼓	和太鼓	神林例大祭、文化祭等への参加 会員同士のまとまりと技術向上を目指す。	日曜日 19時～20時	3,000円/年	小学生も参加可能 ★まつチャレ登録団体	神林公民館 Tel. 0263-58-2039 松本市神林1557-1
83	ファーストシューズ	スポーツ	ソフトバレーを通じて地域の親睦を深める	土曜日 19時～21時		小学生も参加可能 会場は菅野小学校か笹賀公民館	笹賀公民館 Tel. 0263-58-2046 松本市笹賀2929
84	バンビ	スポーツ	バドミントン・卓球・バレー 親睦、体力づくり	月曜日 19時～21時30分		小学生も参加可能	
85	フラワーアレンジメントサークル	フラワーアレンジメント	季節の花を工夫してデザインし製作。	第3水曜日 18時30分～20時	3,500円/回	材料費負担	
86	木の笛コカリナの会	コカリナ	コカリナ笛の練習、交流を楽しむ。	第4土曜日 9時～16時		小学生も参加可能	
87	笹賀卓球クラブ	スポーツ	ラージボール卓球で交流と親睦	日曜日 19時～21時30分			
88	フラサークル笹賀ブルメリア	フラダンス	ハワイアンフラを通して仲間づくり、体力づくり	第1・3土曜日 14時～15時30分			
89	笹賀バドミントンクラブ遊羽	スポーツ	バドミントンを通して体力づくり、仲間づくりを目的にしています	木曜日 19時30分～			

公民館で活動する中学生も参加可能な団体一覧

No.	団体名	活動分野	活動内容（詳細）	活動日時	会費	特記事項	連絡先
90	下小俣ソフトバレー	スポーツ	若者、高齢者混在してソフトバレーを楽しみ、仲間づくり・体力づくりを目的に活動しています。	金曜日 19時30分～			笹賀公民館 Tel. 0263-58-2046 松本市笹賀2929
91	レインボーVC	スポーツ	バレーボールを通じて技術の向上と同じ目標に向かって仲間と協力することを目的に活動しています	土曜日・日曜日・祝日 午前		小学生も参加可能	
92	フラ・オハナ・ロコマイカイ	フラダンス	ハワイの文化であるフラダンスを学んで異文化に対する理解を深め、心と体を鍛えます。	金曜日 18時～19時			
93	ストレッチ藤の会	ストレッチ	健康維持と親睦を目的に活動しています	水曜日 19時～ 土曜日 17時～			
94	紀心会	空手	毎年全国大会に生徒を輩出しています。笹賀地区を中心に元気に活動しています。	水曜日 18時30分～（公民館） 金曜日・土曜日 18時30分～（菅野小）		小学生も参加可能	
95	すまいる	スポーツ	卓球を通じて健康づくり、仲間づくりを目的に活動しています	日曜日 9時～12時			
96	ミラクル	スポーツ	仲間づくり、思いやりを卓球通じて経験することを目的に活動しています	火曜日 18時～21時			
97	さくらの会	生け花	いけばなの稽古、地区文化祭への展示	第2・4土曜日 18時30分～21時	会費0円 別途材料費	希望があれば 活動日時の調整可能	芳川公民館 Tel. 0263-58-2034 松本市野溝東2-10-1
98	チアダンスクラブ	ダンス	チアダンスの練習 イベント等での発表	火曜日 18時～21時30分 土曜日 13時～16時30分	5,200円/月		
99	芳川バトンクラブ	トワリング囃子	バトンの練習 イベント等での発表	金曜日 18時～21時 土曜日 9時～12時30分	5,200円/月		
100	ちくまのコーラス	合唱	合唱の練習 地区文化祭での発表	木曜日（隔週の月2回）19時20分～21時	なし	会場の変動あり	
101	松本 クラリネット・アンサンブル	音楽	クラリネットの練習 演奏会、文化祭等への参加	日曜日 13時30分～16時30分	750円/月		
102	クラウドの 無空道	書道	書道を学ぶ 地区文化祭で発表	第3木曜日 14時～17時	2,000円/回		
103	とれもろマンドリン オーケストラ	音楽	マンドリン・ギター・ フルートのアンサンブル	第2・4土曜日 10時～12時	なし		
104	寿・花の会	生け花	生け花 文化祭で展示します	5月～12月 毎月1回 土曜日	800円/回		寿公民館 Tel. 0263-58-2038 松本市寿豊丘424
105	松本季楽会	俳句	俳句を作って講師に評価してもらっています	第3土曜日 13時～16時	6,000円/年		
106	健康マーじゃんサークル 嶺上開花	麻雀	麻雀のルールを覚え、ゲームを楽しむ	土曜日 13時～16時45分	500円/年		
107	松原囲碁クラブ	囲碁	囲碁対局	水曜日 13時～17時	中学生のみ0円 大人1,000円/年	中学生以上参加可能	松原地区公民館 Tel. 0263-57-2322 松本市松原39-1
108	フォトサークルあるぷす	写真	写真撮影・講評・意見交換等、環境保全学習	第1・3木曜日 13時30分～16時30分頃	未定	小学生・高校生も参加可能、17時頃まで対応可能	岡田公民館 Tel. 0263-46-2313 松本市岡田町517-1
109	入山辺バドミントンクラブ	スポーツ	バドミントン	火曜日・木曜日 19時～21時 日曜日 9時～11時		小学生も参加可能	入山辺公民館 Tel. 0263-32-1389 松本市入山辺1509-1
110	メイプルサウンド ジャズオーケストラ	音楽	ビッグバンドの演奏（ジャズ・ポップス歌謡曲など）	木曜日 20時～21時			
111	入山辺ママさん バレーボールクラブ	スポーツ	ソフトバレーボール	月曜日 19時～21時			
112	チャオ	ダンス	社交ダンス、ダンススポーツ	不定期 月4回程度		小学生も参加可能	今井公民館 Tel. 0263-59-2001 松本市今井2231-1
113	学校開放	スポーツ	スポーツ	不定期			
114	SK松本ジュニア合唱団	合唱	合唱の練習・発表	第1・3土曜日 14時～16時 第2・4日曜日 10時～12時	3,000円/月	★まつチャレ登録団体	本郷公民館 Tel. 0263-46-1500 松本市浅間温泉2-9-1
115	翔乃会	伝統文化	民謡や古典舞踊	水曜日 19時30分～22時	2,000円/月	※現状、大人のみ参加	
116	書道クラブ	書道	書道	水曜日・金曜日 14時～18時30分	2,000円/月		

公民館で活動する中学生も参加可能な団体一覧

No.	団体名	活動分野	活動内容（詳細）	活動日時	会費	特記事項	連絡先
117	本郷若獅子太鼓 浅間温泉火焰太鼓保存会	音楽	和太鼓演奏	日曜日 14時～16時30分	1,000円/月		本郷公民館 TEL. 0263-46-1500 松本市浅間温泉2-9-1
118	ユースサーカス	サーカス	アクロバットや玉乗り等、サーカス技の練習・発表	水曜日 19時30分～21時 土曜日・日曜日（不定期）	2,000円/回		
119	若あゆの会	詩吟	漢詩・俳句等の朗詠	水曜日 15時30分～17時（月2～3回）	なし		
120	松本ジャグリングクラブ	ジャグリング	ジャグリングの練習・発表	月曜日 19時30分～21時	なし		
121	四賀ゲートボール協会	ゲートボール	ゲートボールの練習	木曜日 19時～21時	なし		四賀公民館 TEL. 0263-64-3112 松本市会田1001-1
122	四賀ソフトバレーボール クラブ	スポーツ	ソフトバレーボールの練習	金曜日 20時～22時	1,000円		
123	四賀書道クラブ	書道	習字の練習	水曜日 19時30分～21時	2,000円		
124	四賀混声合唱団	合唱	合唱の練習	月曜日 19時30分～21時	1,000円		
125	四賀剣友会	剣道	剣道の練習	火曜日・木曜日 19時～20時30分 土曜日 10時～12時	2,000円		
126	四賀鼓龍会虚空蔵太鼓	太鼓	太鼓の練習	日曜日 14時30分～16時30分	500円		
127	書道りんどうクラブ	書道	書道教室	第2・4火曜日 18時30分～20時30分		小学生も参加可能	波田公民館 TEL. 0263-92-2268 松本市波田4417-1
128	和の会	茶道	茶道の所作、お点前の稽古	土曜日 9時～12時 （講師の都合で変動あり）			

地域展開検討協議会資料
8. 7. 1
学校教育課

部活動の地域展開に伴う令和8年度実証事業の実施について

1 趣旨

部活動の地域展開を推進するため、学校活動で使用しなくなり地域クラブ等の学校外の活動が主な使用先となる学校の施設及び備品について、地域展開後も生徒のスポーツ・文化活動の機会を引き続き確保するため、実証事業を行い今後の取扱いを検討するものです。

2 実証事業の内容

(1) テニスコート活用事業

ア 目的

現状ではコートのコンディションが悪く、安全面や競技面で課題があり、地域クラブ等に施設を貸出す上で、市として安全で支障なく競技が行える環境を整備する必要がある一方で、過剰な整備にならないよう今後の整備水準を決定するために、実証事業として委託によるコート補修作業及び効果検証などを行うものです。

イ 現状

(ア) 維持管理

各校のソフトテニス部顧問が中心となり部員とともに除草、ブラシ掛け、ラインテープの補修などを行っています。

(イ) 整備

クレーコートの整備は、学校施設の中でも手間と技術を要する施設となりますが、作業時間の確保、知識・技術面、用具不足及び予算面などから教職員による整備は難しく、凹凸が激しいまま使わざるを得ない状況です。

ウ 実証校

テニスコートを所有する市内13校のうち、地域クラブの使用が見込まれる7校からコートの状況別に3校を選定しました。

照明あり	清水中学校(2面)
単独施設となっている	旭町中学校(4面)
グラウンドの一部に設置	筑摩野中学校(5面)

エ 業務内容

コート補修作業(6面※)	雑草鋤取り、基面整正、ラインテープ張替え等
通年管理(全面)	除草、冬季閉鎖養生作業、春季開設作業
効果検証	日本スポーツ施設協会等の基準をもとに検証

※有効性を検証するため、各校半数程度のコートで補修作業を実施し、未実施コートと比較

(2) 吹奏楽器活用事業

ア 目的

昨年度、外部委託により実施した松本市立中学校全校の吹奏楽器の数量、状態点検及び各校へのヒアリング調査に基づき、委託による管理、状態点検、メンテナンス作業の実施方法を実証するとともに、生徒へのメンテナンス講座の実施により吹奏楽器の長寿命化を図るものです。

イ 現状

吹奏楽で使用する吹奏楽器のうち学校備品は、各学校の音楽専科の教職員を中心に維持管理及びメンテナンスを実施しています。

ウ 業務内容

吹奏楽器の保管場所は引き続き学校施設を使用し、維持管理及び貸出し業務等を委託するものです。

吹奏楽器点検業務（年2回）	状態点検、状態評価（修繕費用・更新費用の算出含む）、使用状況のヒアリング調査
吹奏楽器貸出し及び回収作業	貸出し楽器の把握、状態点検
メンテナンス講座の実施	地域クラブ受講生向けの吹奏楽器メンテナンス講座を実施（お手入れ冊子の配布含む）
吹奏楽器メンテナンス作業	使用している楽器の軽メンテナンスを実施

3 今後の進め方

実証事業の内容を踏まえ、テニスコート及び吹奏楽器の来年度以降の取扱いを決定します。

部活動の地域展開におけるクラブ認定の取扱いについて

1 趣旨

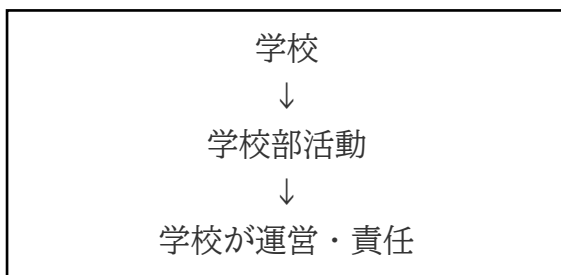
国が創設した「認定地域クラブ活動制度」及び日本卓球連盟が大会参加要件として示した「行政認定された地域クラブ」を踏まえ、本市における地域クラブ認定の考え方及び当面の対応方針について協議するものです。

なお、本市ではこれまで、「学校教育から地域スポーツ・文化活動へ」という地域展開の理念のもと、地域での受け皿を創出する仕組みとして「まつチャレ」を推進してきました。今回の認定制度への対応についても、この理念との整合性を踏まえ整理するものです。

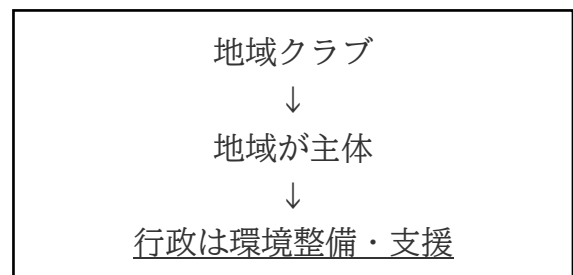
2 部活動の地域展開の考え方

これまで学校部活動は、学校教育活動の一環として学校が主体となり運営されてきました。国が進める地域展開は、この学校部活動を地域へ移行し、地域が主体となってスポーツ・文化活動を担うことを目指すものです。

【これまで】



【地域展開】



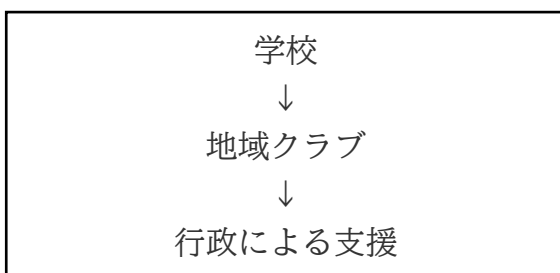
この考え方に基づき、本市では地域クラブの自主性を尊重し、行政は支援者として関わることを基本としてきました。

3 認定制度による新たな課題

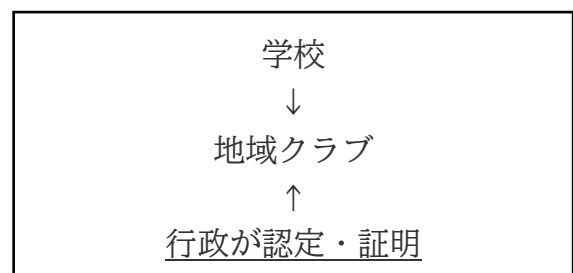
国の制度及び競技団体の運用により、地域クラブについて行政による認定・証明を求める動きが生じています。

このことにより、

【これまで目指してきた姿】



【認定制度導入後】



という新たな役割が行政に求められることとなります。

認定制度は大会参加機会の確保や一定のガバナンス確保に資する面がある一方で、

- ・ 行政の役割が「支援」から「認定・管理」へ変化すること
- ・ 認定後の継続的な確認や対応の在り方
- ・ 事故やトラブル発生時の行政の説明責任

など、新たな課題についても整理が必要となります。

4 経過

- 令和7年12月 国が「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定し、「認定地域クラブ活動制度」の基準を示す
- 令和8年3月 日本卓球連盟の大会参加要件において、「行政認定された地域クラブ」の文言が追加
- 令和8年度 各自治体で地域クラブ認定制度への対応が求められる状況となる

5 日本卓球連盟が「行政認定された地域クラブ」を求める背景

(1) 地域展開に伴う課題

部活動の地域展開が進み、地域クラブから中体連等の大会へ参加できる仕組みが整備される中で、学校部活動以外の団体による大会参加が増加しています。

一方で、地域展開の進展に伴い、複数校の生徒による選抜的なチーム編成や、大会参加団体の位置付けが不明確なケースも生じており、大会運営の公平性や参加資格の整理が課題となっています。

(2) 日本卓球連盟における届出区分の整理

日本卓球連盟では、選手届出区分を次のように整理しています。

ア 単独校（在籍校）

従来どおり中学校単位で活動する学校部活動

イ 拠点校

教育委員会等が指定し、複数校の生徒が合同で活動する学校部活動

ウ 地域クラブ（要行政認定）

学校部活動以外の地域主体による活動団体

また、令和8年度以降の届出申請においては、地域クラブが日本卓球連盟主催の大会へ参加する場合、教育委員会等による確認や証明を求めるとしています。

これは、地域展開の受け皿として適切に運営されている団体であることを確認し、大会運営の公平性を確保することを目的としたものと考えられます。

6 国の認定制度と日本卓球連盟が求める認定の違い

現在、国が示す認定制度と、日本卓球連盟が求める行政認定との間には一定の違いがあります。

(1) 国の「認定地域クラブ活動制度」

スポーツ庁及び文化庁は、令和7年12月に「認定地域クラブ活動制度」の基準を示しています。

当該制度では、以下のような多岐にわたる要件が求められています。

- ア 学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させた活動であり、生徒が身近な地域で希望する活動に主体的に参加できるようにすることで、豊かで幅広い活動機会の保障に寄与するものであること（選抜等の不実施、障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含めた参加環境整備等を含む。）
- イ 適切な活動時間や休養日が設定されていること
- ウ 活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること
- エ 適切な指導の実施体制が確保されていること（日本版 DBS の活用を含めた不適切行為の防止徹底、「認定地域クラブ活動指導者」届出制度により届出された指導者による指導等）
- オ 適切な安全確保の体制が確保されていること
- カ 適切な運営体制が確保されていること
- キ 学校等との連携が適切に行われていること

一方で、制度開始直後の段階であり、各自治体における運用方法や審査体制等については今後整理される部分も多く、本市において直ちに認定制度を導入することは困難な状況です。

(2) 日本卓球連盟が求める「行政認定」

一方、日本卓球連盟が求める「行政認定」については、現時点でその要件が明確に示されておらず、国の「認定地域クラブ活動制度」に基づく認定を指すのか、あるいは各自治体が独自に定める基準による認定を含むのかは明らかではありません。

日本卓球連盟が公表している「行政認定を受けた地域クラブの登録申請簡易ガイド」では、「行政機関（管轄の教育委員会等）に認定された地域クラブ」は学校と同等の扱いになるとされています。このことから、該当の地域クラブが学校部活動に代わる受け皿として適切な団体であり、大会参加資格を有する団体であることを、教育委員会等が確認・証明することを目的とした運用であると考えられます。

7 松本市における対応方針

(1) 国の認定地域クラブ活動制度の導入は当面保留

国が示す認定制度については、指導者資格の取得状況、日本版 DBS の運用状況及び他自治体の動向等を踏まえながら、導入の可否を検討することとし、当面の間は保留とします。

(2) 大会参加機会を確保するための暫定措置

国の認定地域クラブ活動制度の導入までの間、中学生の大会参加機会を確保するため、次のとおり暫定的に対応します。

ア 本市の地域クラブ活動支援対象である「まつチャレ」に届出しているクラブについては、本市が地域展開の受け皿として位置付ける団体として取り扱います。

イ また、競技団体から行政認定の確認を求められた場合には、本市の地域クラブポータルサイトに掲載された「まつチャレ」を対象とし、証明書等の交付についても、必要に応じて対応を検討します。

※ここでの確認は大会参加資格に関する確認であり、安全性や活動内容を保証する

ものではありません。

8 今後の課題及び対応スケジュール

(1) 競技団体の動向把握

各競技団体が示す届出要件や参加資格要件について継続的に情報収集を行うとともに、指導者資格に関する経過措置や特例措置の内容について確認を進めます。

(2) 「まつチャレ」届出基準の見直し

国の認定制度及び競技団体の運用状況を踏まえながら、必要に応じて「まつチャレ」の届出要件について段階的な見直しを検討します。

将来的には、本市における地域クラブの運営基準としての役割を担えるよう、必要に応じて制度の充実を図ります。

(3) 国の認定制度への対応検討

日本版 DBS の運用状況や認定制度の定着状況を踏まえ、本市としての認定制度導入の可否について検討を進めます。